

2022年5月

学生認識／行動調査2021

結果報告

学生支援センター

目次

調査の概要.....	2
回答率.....	2
1. 入学動機.....	3
2. 自己肯定感.....	5
3. 他学生および教職員との関係.....	7
4. 施設等満足度.....	9
5. 施設等への要望 [自由記述].....	13
6. 学修状況.....	16
7. 授業満足度.....	19
8. 建学の精神の理解とDP達成度.....	22
9. 生活・心身の悩み・経済状況など.....	29
10. 本学への意見等 [自由記述].....	45

調査の概要

調査期間：2022年2月16日（水）～3月31日（木）

対象者：学部の1～4年生（休学者を除く）

調査方法：Google Formsを利用した（stアカウントからの回答に限定）。

学籍番号取得式による任意回答とした。

設問数：39問（選択式36問・自由記述3問）

回答率

<学科別回答者数・回答率>

学科	日本文学科	中国文学科	英米文学科	教育学科	書道学科	歴史文化学科	社会経済学科	現代経済学科	中国語学科	英語学科	日本語学科
対象者数	635	241	499	487	233	383	813	635	273	870	234
回答者数	150	43	83	83	47	87	99	75	36	180	46
回答率	23.6%	17.8%	16.6%	17.0%	20.2%	22.7%	12.2%	11.8%	13.2%	20.7%	19.7%
学科	法律学科	政治学科	国際関係学科	国際文化学科	経営学科	環境創造学科	スポーツ科学科	健康科学科	看護学科	社会学科	全体
対象者数	905	622	411	392	1,440	15	509	324	390	764	11,075
回答者数	134	99	56	67	185	0	59	61	73	159	1,822
回答率	14.8%	15.9%	13.6%	17.1%	12.8%	0.0%	11.6%	18.8%	18.7%	20.8%	16.5%

<学年別回答者数・回答率>

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	全体
対象者数	2,849	2,815	2,585	2,826	11,075
回答者数	675	521	396	230	1,822
回答率	23.7%	18.5%	15.3%	8.1%	16.5%

1. 入学動機

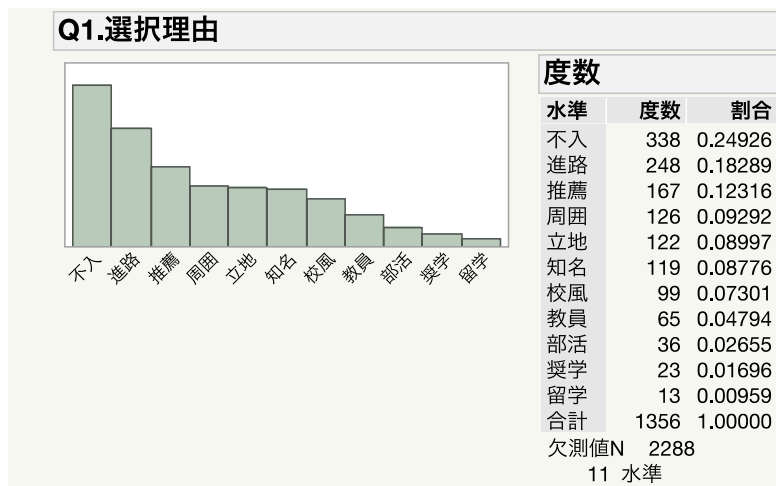
このセクションでは、Q1（入学動機）に関する部分について結果を報告する。

【入学動機】

Q1 1年生(2021年度入学生)のみ回答してください。本学に入学した理由は何ですか。(主なものを2つまで)

- ①校風 [校風]
- ②指導を受けたい教員がいた [教員]
- ③将来の希望進路に必要な勉強ができる [進路]
- ④知名度・注目度の高さ [知名]
- ⑤立地条件 [立地]
- ⑥親や先生など周囲のすすめ [周囲]
- ⑦推薦入試制度があった [推薦]
- ⑧希望の部活動等に入るため [部活]
- ⑨奨学金制度が充実している [奨学]
- ⑩留学制度が充実している [留学]
- ⑪希望した大学に入れなかった [不入]

<全学>



これはひとり2つまで選択した合計の頻度である。回答した1年生は675名であったので、その回答者の中でどのくらいの割合が各理由をあげたかは以下の通りとなる。約50%が本学を選択した理由として「不入」すなわち「希望した大学に入れなかった」をあげている。

不入	進路	推薦	周囲	立地	知名	校風	教員	部活	奨学	留学
338	248	167	126	122	119	99	65	36	23	13
50.1%	36.7%	24.7%	18.7%	18.1%	17.6%	14.7%	9.6%	5.3%	3.4%	1.9%

では2つ選択した時、どの2つの組み合わせが多かったのだろうか。2つの理由の組み合わせの頻度の一覧は以下の通りである。

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度											
度数	不入	推薦	周囲	立地	進路	知名	部活	奨学	教員	留学	合計
進路	47	34	22	15	0	19	9	5	0	0	151
校風	8	10	5	18	27	8	1	0	8	1	86
知名	38	13	11	10	0	0	2	1	0	0	75
立地	34	9	11	0	0	0	0	2	0	1	57
周囲	22	20	0	0	0	0	3	1	0	1	47
教員	4	8	5	3	18	3	2	1	0	0	44
推薦	6	0	0	0	0	0	8	1	0	2	17
奨学	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9
部活	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
留学	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	173	94	54	46	45	30	25	12	8	7	494

最も多いのが「不入」と「進路」の47名で、次が「不入」と「知名」の38名である。「不入」と「立地」、「推薦」と「進路」は34名で同数である。

2. 自己肯定感

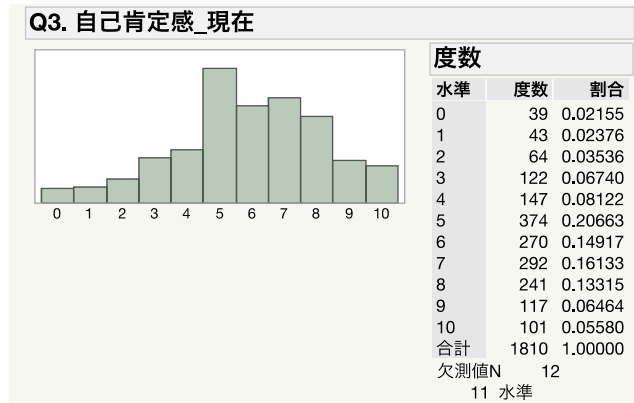
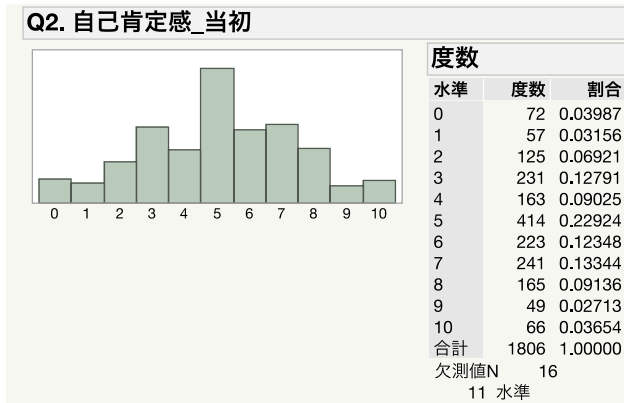
このセクションでは、Q2（入学時の自己肯定感）と、Q3（現在の自己肯定感）に関する部分について結果を報告する。

【自己肯定感】

Q2「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、入学時にはどの程度でしたか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

Q3「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、現在どの程度ですか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

<全学>

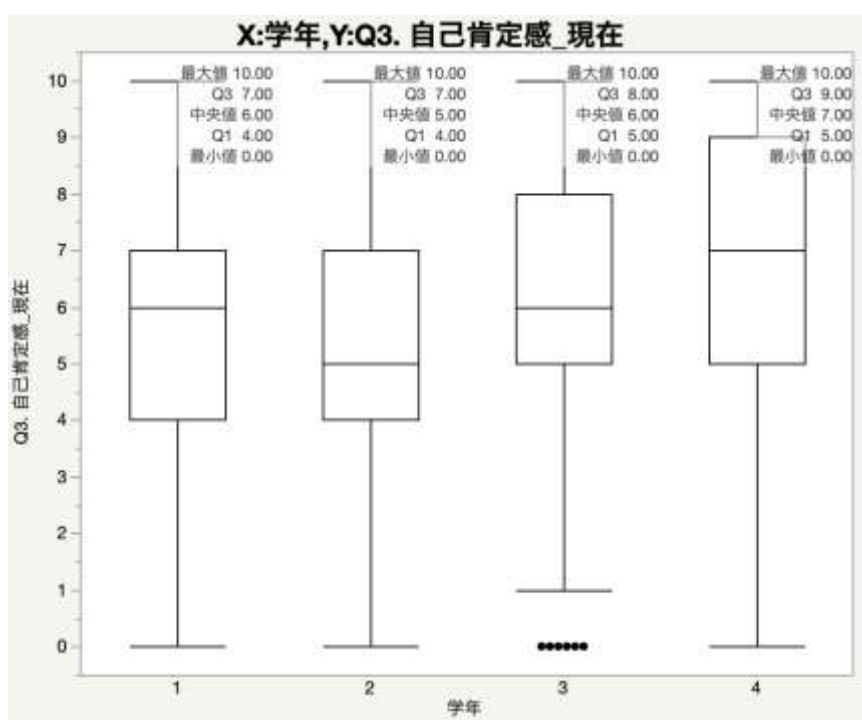


全学の分布をヒストグラムで見ると、最頻値は入学時も現在も5（50%程度の自己肯定感）であり、最低値の0から最高値の10まで広範に分布していることがわかる。平均値は、入学時が5.08、現在が5.88であり、0.80の上昇が見られた。対応のあるt検定を行ってみるとこの差は統計的に有意である。つまり全学的には入学時よりも現在のほうが自己肯定感は上昇していると言える。

<学年別>

Q3 の回答数値すなわち現在の自己肯定感を学年別に集計してみた。平均値は2年<1年<3年<4年であり、すべてのペア（2年と1年、1年と3年、3年と4年）の間に統計的な有意差がある。すなわち回答の時点で、4年生は3年生より、3年生は1年生より、1年生は2年生よりも、自己肯定感が高かった。

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	下側95%	上側95%
1	672	5.74	2.26	0.09	5.57	5.91
2	518	5.43	2.29	0.10	5.23	5.62
3	393	6.11	2.20	0.11	5.89	6.33
4	227	6.96	2.10	0.14	6.69	7.24

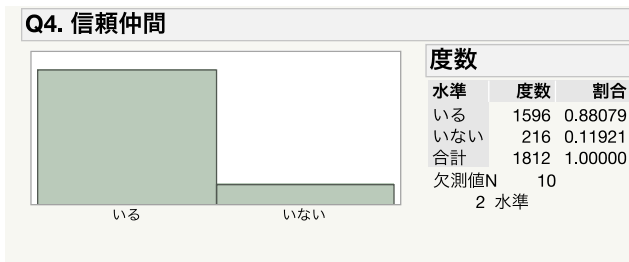


3. 他学生および教職員との関係

このセクションでは、Q4（助け合える仲間）と、Q5（信頼できる教職員）に関する部分について結果を報告する。

Q4 本学の学生の中で、交流し、助け合えるような仲間はひとりでもいますか。 ①いる ②いない

<全学>



<学年別>

学年	いる	いない
1	87.8	12.2
2	82.6	17.4
3	92.2	7.9
4	94.3	5.7

全学では約 88%が「いる」と回答した。学年別にはやはり 4 年生の比率が高い。1 年生と 2 年生の数値の低さにはコロナ禍のためにオンライン授業が多かったことが影響している可能性もある。

Q5 本学の教職員の中で、信頼できるまたは比較的気楽に話せる教職員はひとりでもいますか。

①いる ②いない

<全学>



<学年別>

学年	いる	いない
1	44.79	55.21
2	42.83	57.17
3	66.92	33.08
4	80.26	19.74

教職員に関しては全体で約 54%が「いる」と答えた。学年別には予想通り、1～2年生と3年生、そして4年生とは顕著な差がある。

4. 施設等満足度

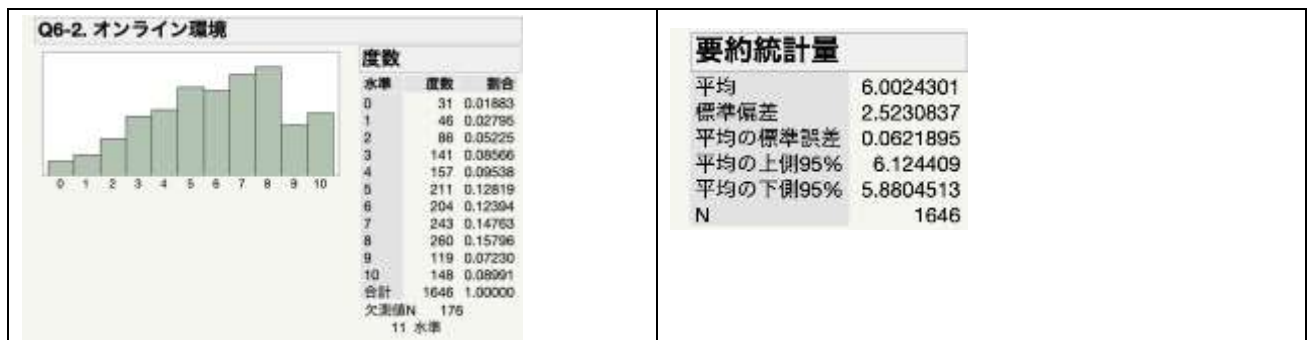
このセクションでは、Q6（施設等満足度）と Q7（施設等の改善希望）に関する部分について結果を報告する。

Q6 次のそれぞれの事項に対する満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の 11 段階で選んでください。利用したことがない場合は、何も選択しないでください。

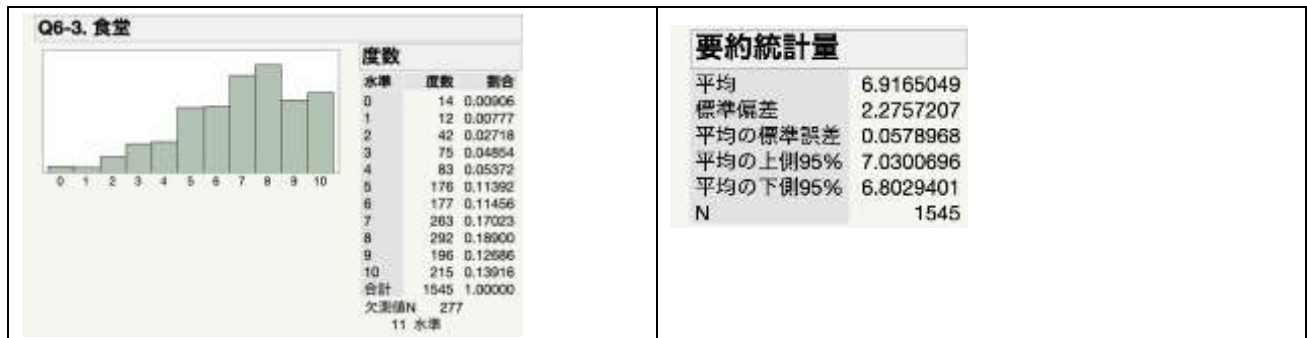
6.1 PC 教室



6.2 Wi-Fi などオンライン授業環境



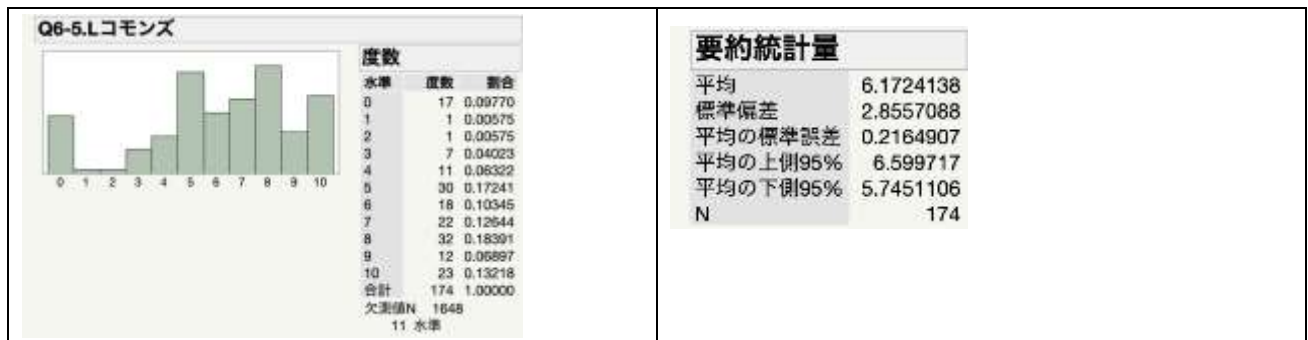
6.3 食堂



6.4 図書館



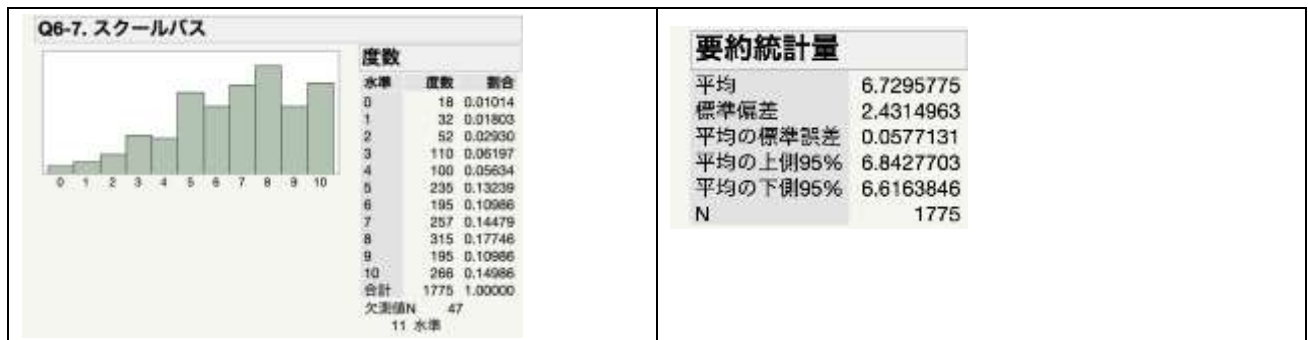
6.5 ラーニング・commons



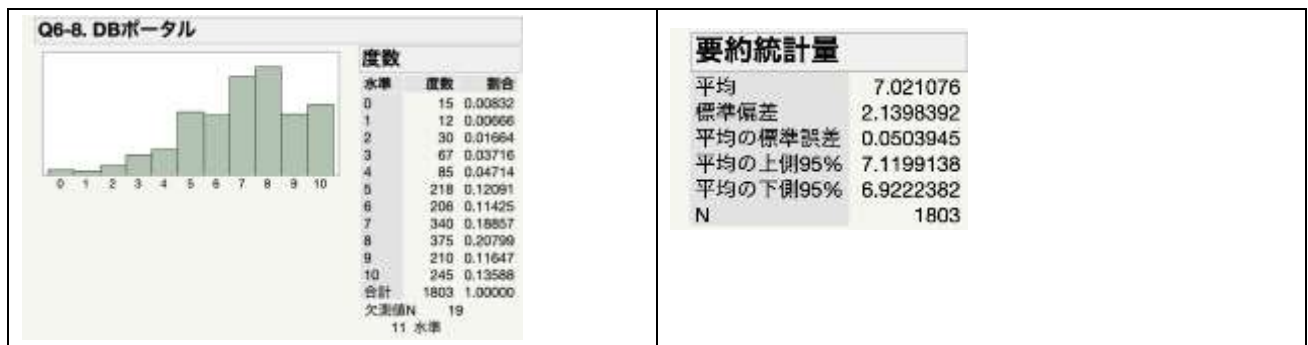
6.6 M ロッジ



6.7 スクールバス



6.8 DB ポータル



6.9 DB manaba



6.10 多目的グラウンド・体育館



<平均と標準偏差の一覧>

	人数	平均	標準偏差
PC教室	1084	6.26	2.42
オンライン環境	1646	6.00	2.52
食堂	1545	6.92	2.28
図書館	1496	7.86	1.94
ラーニング・commons	174	6.17	2.86
Mロッジ	348	6.73	2.47
スクールバス	1775	6.73	2.43
DBポータル	1803	7.02	2.14
DB manaba	1804	7.56	1.93
グラウンド・体育館	743	7.34	2.05

回答人数が 1000 名以上すなわち多くの学生が利用している施設・設備に関する項目で平均値が最も高いのは図書館で、最も低いのはオンライン環境である。DB ポータルと DB manaba を比べると、manaba が高く、ポータルが低い。ラーニング・commons はそもそも回答者すなわち利用経験者が少ないのだが、標準偏差が最も高い、すなわち満足度が割れている。

5. 施設等への要望 [自由記述]

このセクションでは、Q7（施設等への要望）に対する自由記述の結果を報告する。

Q7. Q6 の内容で、特に改善して欲しいことがあれば具体的に書いてください。

この設問には 377 件の実質的なコメントがあった。その内容と件数は以下の通りである。（ひとつのコメント内で複数の内容について触れている場合はそれぞれカウントしている。）

スクールバスについて	135 件
Wi-Fi 環境について	98 件
DB-Portal について	49 件
食堂等について	47 件
manaba について	27 件
図書館について	13 件
体育施設等について	13 件
PC（教室）について	9 件
オンライン環境について	3 件
その他	20 件

<スクールバスについて(135 件)>

スクールバスについては 135 件のコメントがあり、東松山所属学生からは 95 件、板橋所属学生からは 40 件のコメントがあった。スクールバスについての圧倒的に多い意見は、(1) 時間帯によって本数が足りないのを増やして欲しい、と (2) 混みすぎていて怖いので詰め込みすぎるのをやめて欲しい、であった。また、(3) 鴻巣・久喜便について回数券ではなく定期券を導入してほしい、(4) 部活動終わりの学生に向けて最終バスの本数を見直してほしい、(5) バスの運転が荒い、等の意見も見受けられた。

<Wi-Fi 環境について(98 件)>

Wi-Fi 環境についての意見は、異口同音に、繋がりにくいエリアがあるので強化して欲しい、というものであった。具体的な場所として東松山校舎の 2、4、6、7、8 号館が挙げられた。

<DB-Portal について(49 件)>

DB-Portal については、(1) ユーザーインターフェイスが悪い、(2) エラーが頻発する、(3) 見づらい、などの声が多い。

<食堂等について(47 件)>

食堂等については、(1) (特に板橋で) メニューを増やして欲しい、(2) 内容に対して価格が高い、(3) 混雑を緩和して欲しい、という声が多かった。

<manaba について(27 件)>

manaba については、細かな使い勝手についての希望とともに、授業で使用するのを DB-Portal か manaba かどちらかに統一して欲しい、という声も複数あった。

<図書館について(13 件)>

図書館については以下のコメントがあった。

1. コロナ感染疑いで自宅待機を学校から指示された時に、図書館で借りている本の返却期限が延長されないことをどうにかしてほしい。
2. 図書館の利用時間の延長 夜遅くまでしてほしい
3. 図書館の本を新しくしてほしい
4. 図書室に参考書などを置いて欲しい
5. レポートなどを書く際に参考資料が必要なため、よく図書館を利用していた。しかし、必要な資料がどちらかの図書館にしかなく、そのたびに取り寄せるのが大変だった。板橋キャンパスの本をもう少し増やしてほしい。
6. レポートの資料として必要な参考文献がほとんど東松山キャンパスに置いてあるということがありました。遠距離通学であるため、行き来が大変です。どちらか一方にしか置いてないのは、少し困りました。
7. 学生自身が主体的に調べるべきことかもしれませんが、図書館の使い方を詳しく教えていただける機会を多く設けていただきたいです。
8. 図書館でも本以外の印刷を行いたい
9. 図書館の Wi-Fi が弱いときがある
10. 図書館の充電環境を整えてほしい
11. 図書室において、寝るために個人部屋を使っている人がいて許せないと思った。
12. 東松山図書館の個室について、頭の上に換気みたいなものがあって、夏でも結構寒い気がする、また冬になると、図書館全館がとても寒い！！特に個室！
13. 板橋校舎の図書館は快適。東松山校舎の図書館は夏はいいけど冬は寒すぎて勉強がはかどらない。利用したいとは思えない。1. 2 年生のために暖房設定温度を上げてあげてほしい。

<体育施設等について(13 件)>

体育施設等についても、以下に全件を掲載する。

1. トレーニングジムなどを一般学生でも使えるようにしてほしい
2. トレーニングセンターを誰でも使えるようにしてほしい
3. トレーニング室を使わせて欲しいです。
4. 部活動に所属していない学生にもジム、シャワールーム等の設備が使えるようにしてほしい。
5. 利用しやすい環境を作ってほしい。例えばトレーニングルームなどは運動部が占領していることもあり使用ができないこと
6. 人工芝の質

7. 早く更衣室を使えるようにしてほしい
8. シャワールーム
9. 総合グラウンドのネット
10. 総合グラウンド人工芝の整備をしてほしいです。毎年怪我する人がとても多いため。
11. 体育のときの更衣室が遠すぎる。
12. 体育館の建物内の地図が分かりやすい場所に欲しい
13. 野球グラウンドの整備をして頂きたいです。

<PC(教室)について(9件)>

PC関係では以下のコメントがあった。

1. pcの充電用にコンセントを増やしてほしい
2. PCルームに置いてあるPCのOSが古い。
3. pc教室のマウス、特にマウスホイールの反応が悪い物があるので直していただきたいです。
4. pc教室は席が狭くて使いづらい
5. PC室やスクールバスはもう少しコロナ対策をした方が良いと思う。
6. ゼミで本来ならば利用できるはずのPC教室が、全く利用できなかったのが辛かったです。
7. ノートPCが古い気がします。
8. パソコンのバージョンを上げてほしいです。パソコン室を使用するのは基本の操作とOffice利用が主な目的だと思うのですが、それ以外にもペイントや動画編集などを習うためにも使われるので、あまりにもバージョンが古いと使用できないアプリがありました。新しいパソコン、もしくは自分達のパソコンを学校の機器と繋げるものが欲しいです。
9. パソコン室の設備の刷新

<オンライン環境について(3件)>

オンライン環境については以下のコメントがあった。

1. オンライン授業でも発言をするので周りを気にせず受ける場所が欲しい
2. オンライン授業や就活の企業説明会などで、こちらから話しても迷惑にならないような空間を用意してほしい。
3. オンライン授業環境

<その他(20件)>

その他に、空調の一括管理をやめて欲しい、ラーニング・コモンズを使えるようにしてほしい、カラーコピーができるようにしてほしい、などの様々な声があった。

以上の声については学生の要望の実現可能性について、それぞれの関係部局に対し検討を依頼してゆきたい。

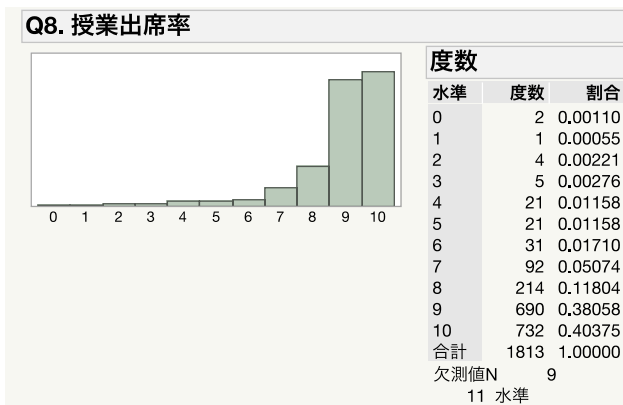
6. 学修状況

このセクションでは、Q8（授業の出席状況）と、Q9（出席状況が悪い理由）、Q10（平均的な学修時間）に関する部分について結果を報告する。

【日常の学修状況】

Q8 授業への平均的な出席状況はどの程度ですか。0(0%出席)～10(100%出席)の11段階で選んでください。

<全学>



全学の回答分布は左のようである。最頻値は10であり、9と10で約78%を占めている。

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	670	8.93	1.42
2	519	9.13	1.13
3	396	8.94	1.37
4	228	8.88	1.11
全体	1813	8.98	1.30

学年では2年生の9.13が最も高い。

Q9 Q8で0～4を選んだ方は、その理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①アルバイトに時間を費やしていた [バイト]
- ②課外活動（部活・サークル活動等）に時間を費やしていた [課外]
- ③授業がつまらなかった・やる気にならなかった [退屈]
- ④パソコン・インターネット環境が整わなかった [ICT]
- ⑤課題が多く、すべての授業に対応できなかった [課題]
- ⑥休学・退学を考えている [休退]
- ⑦精神的な悩み [精神]
- ⑧健康上の理由 [健康]

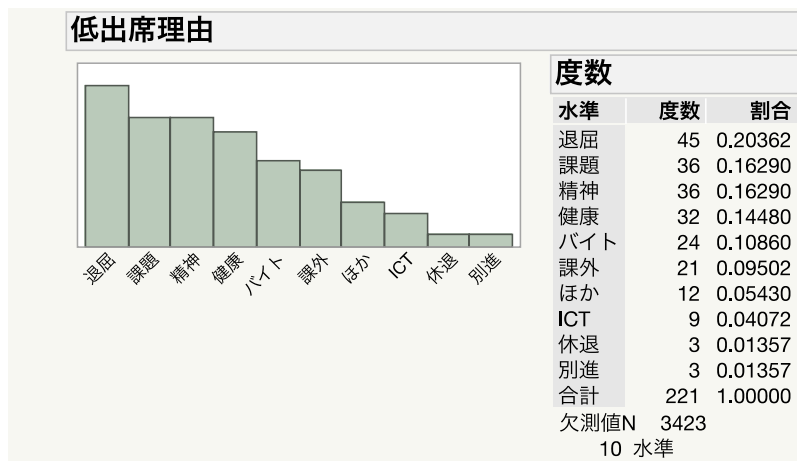
⑨別の進路を考えている

[別進]

⑩その他

[ほか]

<全学>



最も頻度が高いのは「退屈」（授業がつまらなかった・やる気にならなかった）で、次に「課題」（課題が多く、すべての授業に対応できなかった）と「精神」（精神的な悩み）が続いている。上の表で「割合」とあるのは、すべての理由を 1.00 としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は 147 なので、回答した人数に対する割合は、以下のようになる。回答者の約 31%が「退屈」をあげ、約 25%が「課題」「精神」をあげていたことがわかる。

退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進
45	36	36	32	24	21	12	9	3	3
30.6%	24.5%	24.5%	21.8%	16.3%	14.3%	8.2%	6.1%	2.0%	2.0%

次に学年と理由のクロス集計を、度数と学年内パーセンテージで表示した。

<学年別> (度数)

学年 By 低出席理由											
学年	退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進	合計
1	17	18	18	16	6	9	4	3	2	3	96
2	8	8	5	4	4	4	4	4	1	1	39
3	12	8	12	9	9	4	4	2	0	0	60
4	8	2	1	3	5	4	0	3	0	0	26
合計	45	36	36	32	24	21	12	9	3	3	221

<学年別> (学年内パーセンテージ)

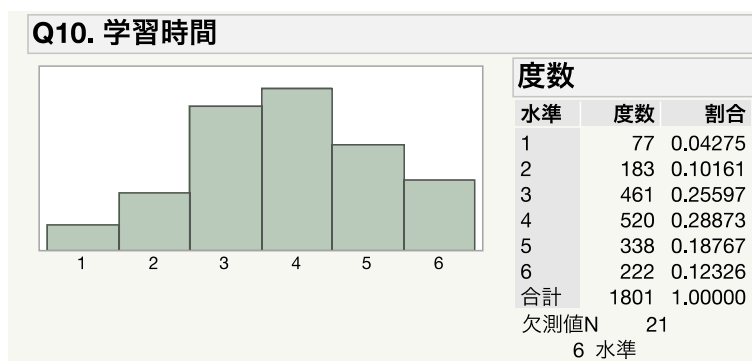
学年	退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進	合計
1	17.7	18.8	18.8	16.7	6.3	9.4	4.2	3.1	2.1	3.1	
2	20.5	20.5	12.8	10.3	10.3	10.3	10.3	2.6	2.6	0.0	
3	20.0	13.3	20.0	15.0	15.0	6.7	6.7	3.3	0.0	0.0	
4	30.8	7.7	3.9	11.5	19.2	15.4	0.0	11.5	0.0	0.0	

まず度数に関しては、1年生が96と突出して高いのが気になる。また「別進」(別の進路を考えている)に度数があるのは1年生のみであった。「休退」(休学・退学を考えている)は1、2年生のみで3年生になるといない。学年内パーセンテージに関しては4年生になると「退屈」が突出していること、バイトのパーセンテージが1年<2年<3年<4年と上昇していることが観察できる。

Q10 授業のための予習・復習・課題、資格取得のための準備等を合わせて、一日平均どのくらい学習しますか。

- ① 4時間以上 ② 3時間程度 ③ 2時間程度 ④ 1時間程度 ⑤ 1時間未満 ⑥ ほぼしない

<全学>



最頻値は4(1時間程度)で、約29%を占める。大学生の学修時間としてはいささか少ないのではないだろうか。6(ほぼしない)も12%以上ある。次に学年別の分布を示す。

<学年別>

学年	1	2	3	4	5	6
1	2.9	8.1	26.8	30.9	18.6	12.7
2	5.4	14.3	29.6	26.1	16.4	8.1
3	5.3	10.7	22.4	27.5	19.3	14.8
4	4.0	5.8	18.3	31.7	23.7	16.5

学年別には1(4時間以上)の割合が最も高いのは2年生で、1(4時間以上)と2(3時間以上)を合計した割合が最も高いのも2年生である。1と2の合計(すなわち3時間以上学修している)、1と2と3の合計(すなわち2時間以上学修している)による学年の順序は共通で、4年<1年<3年<2年である。すなわち4年生の学修時間が最も短く、2年生の学修時間が最も長い。

7. 授業満足度

このセクションでは、Q11（授業満足度）、Q12（満足度が高い理由）、Q13（満足度が低い理由）に関する部分について結果を報告する。

【これまでの授業への満足度】

Q11 本学でこれまで履修してきた授業に対する全体的な満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の11段階で選択してください。

<全学>



全学での最頻値は6（=60%の満足）、平均値は6.4（=64%の満足）である。ヒストグラムで分布をみると6～8がそれほど差のないボリュームゾーンであるが、分布の「裾野」がグラフの左方すなわち満足度の低い側にも薄く広がっており、割合は少ないものの0や1も存在している。

<学年別>

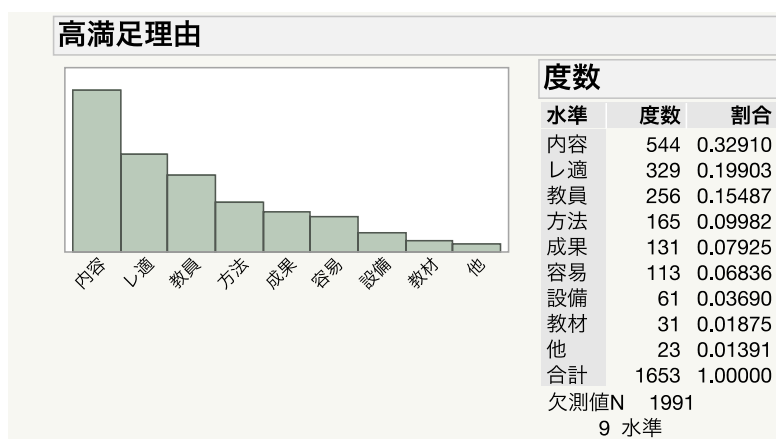
学年	数	平均	標準偏差
1	669	6.44	1.89
2	519	6.05	2.01
3	394	6.57	1.85
4	225	7.00	1.53

学年別には、1年生の数値が2年生になると下降し、3年生で再び上昇し、4年生で最も高くなるという傾向が見える。2年生は標準偏差も2.0を超えている。これは全学FD委員会による「学生による授業認識アンケート」で観察されたパターンと類似のものであるため、おそらく本学における一般的な傾向と考えて良いと思われる。

Q12 Q11 で7～10を選んだ方は、満足度が(比較的)高い理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①授業内容がよい [内容]
- ②授業方法がよい [方法]
- ③担当教員が魅力的である [教員]
- ④単位の修得が容易である [容易]
- ⑤授業レベルが自分に合っている [レ適]
- ⑥教材がよい [教材]
- ⑦施設/設備がよい [設備]
- ⑧授業の成果が実感できる [成果]
- ⑨その他 [他]

<全学>



当然とも言えるだろうが「内容」(授業内容がよい)が圧倒的に多い。次に「レ適」(授業レベルが自分に合っている)、「教員」(担当教員が魅力的である)と続く。

<学年別>

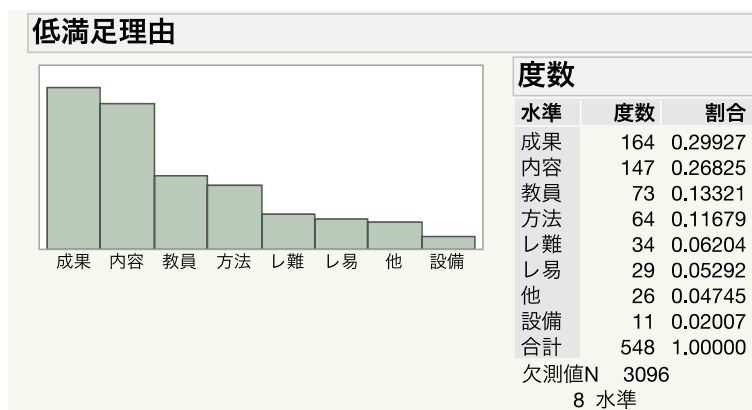
学年	内容	レ適	教員	方法	成果	容易	設備	教材	他
1	31.2	22.9	14.3	9.9	8.9	6.5	3.8	1.9	0.7
2	32.8	19.6	15.3	10.4	8.3	7.6	2.8	0.9	2.4
3	34.7	13.9	17.6	10.5	7.9	6.8	3.9	2.9	1.8
4	34.4	22.5	15.3	8.8	5.3	6.5	4.6	1.9	0.8

学年別には3年生で「レ適」がやや小さいが、特段の違いは認められないようだ。

Q13 Q11で0~4を選んだ方は、満足度が(比較的)低い理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①授業内容に魅力がない [内容]
- ②授業方法になじめない [方法]
- ③担当教員と相性が悪い [教員]
- ④授業レベルが難しすぎる [レ難]
- ⑤授業レベルが簡単すぎる [レ易]
- ⑥施設/設備が貧弱である [設備]
- ⑦授業の成果が実感できない [成果]
- ⑧その他 [他]

<全学>



満足度が低い場合にもっとも多い理由は「成果」(授業の成果が実感できない)である。満足度が高い場合に最も多かった理由の「内容」も、満足度が低い場合にも2つ目に多い理由になっている。

<学年別>

学年	成果	内容	教員	方法	レ難	レ易	他	設備
1	24.6	28.6	14.6	14.6	8.2	4.1	3.2	2.3
2	37.6	25.8	12.4	8.3	5.2	4.1	5.2	1.6
3	31.7	27.7	10.9	11.9	5.0	5.9	5.9	1.0
4	15.2	18.2	18.2	12.1	3.0	18.2	9.1	6.1

学年別に見ると1年生は「内容」、2年生と3年生は「成果」が最も割合が高い。4年生は他の3学年とパターンが異なっているように見えるが、これが一般的な傾向なのか、今回回答のあった学生のみの特徴であったのかは判断がつかねる。

8. 建学の精神の理解と DP 達成度

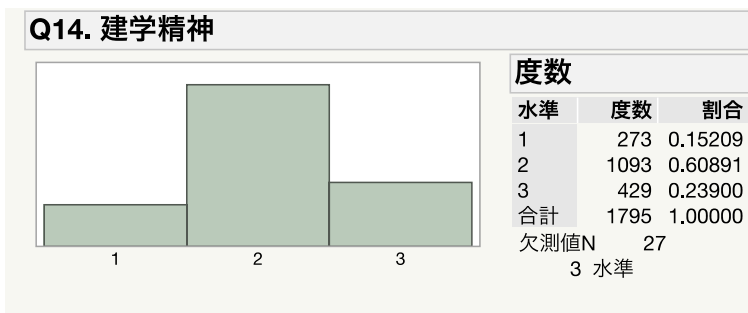
このセクションでは、Q14（建学の精神）と、Q15～Q21（DP 達成度）に関する部分について結果を報告する。

【建学の精神】

Q14 本学の建学の精神、教育理念を現時点でどの程度知っていますか。（※URL を提示）

①知っており内容も理解している ②あることは知っているが内容はよくわからない ③知らない

<全学>



<学年別>

学年	1	2	3
1年	14.3	62.4	23.2
2年	16.7	60.2	23.1
3年	14.1	64.6	21.3
4年	16.3	51.5	32.2

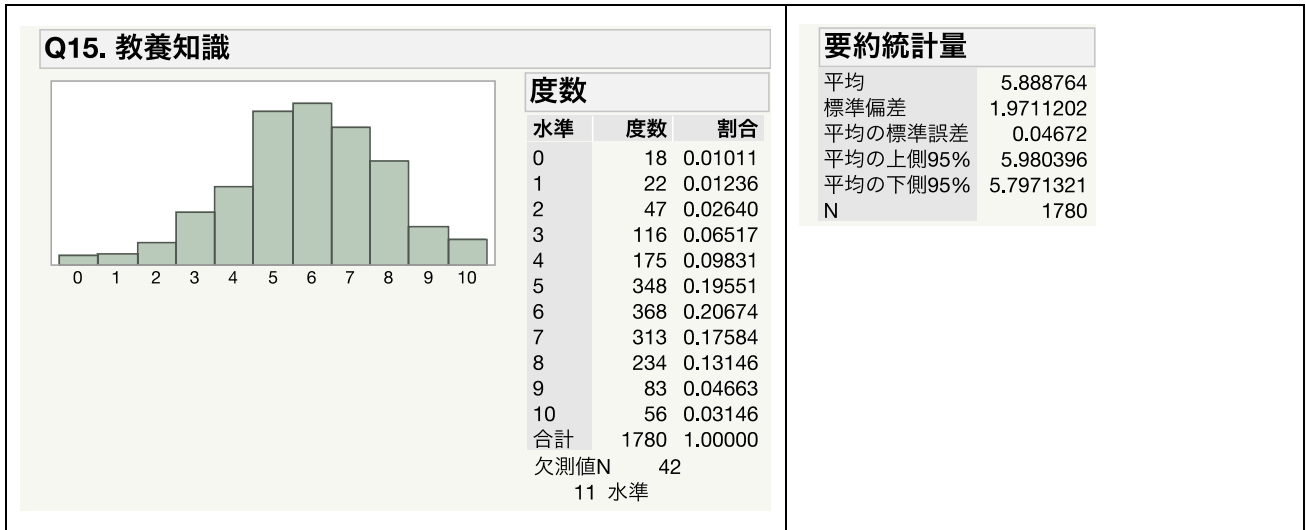
全学では、1（知っていて理解している）は 15.2%で、3（知らない）と回答した学生が 23.9%いる。学年が進行するにつれ建学の精神の理解が深まるということはまったくない。「知らない」と回答したのは 4 年生の割合が最も高かった。

【DP 達成度】

以下の設問は、本学の「卒業認定・学位授与方針」に関連した問いです。本学では以下のような力を身につけた学生に卒業を認定すると定めています。現時点での自分の認識として、それぞれの力がどの程度身についていると思いますか。0(まったく身につけていない)～10(100%身につけている)の 11 段階で選んでください。

Q15 「豊かな教養・幅広い知識を修得している」

<全学>

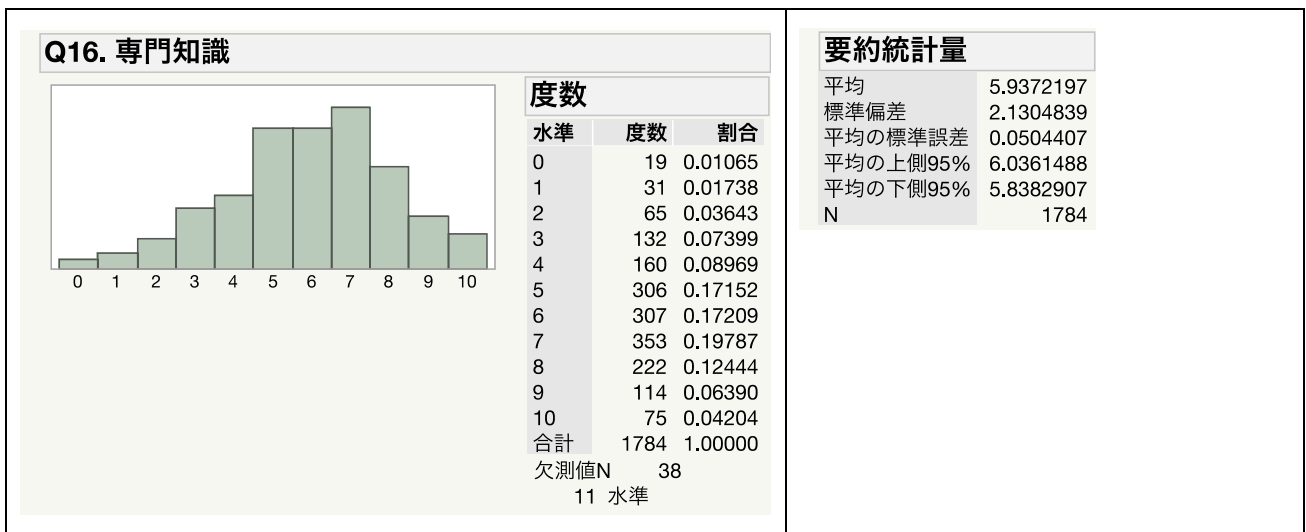


<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	657	5.40	1.91
2	512	5.60	1.91
3	387	6.36	1.93
4	224	7.17	1.58

Q16 「学部学科の専門知識・技能を修得し、活用することができる」

<全学>

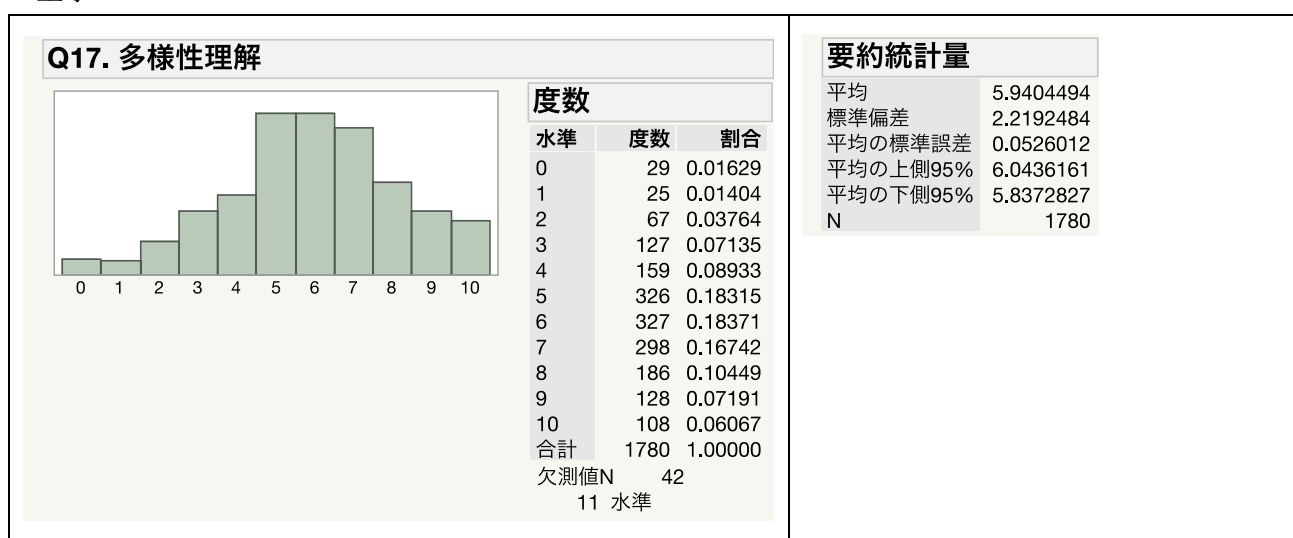


<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	658	5.56	2.12
2	514	5.67	2.06
3	387	6.38	2.05
4	225	6.91	2.02

Q17「多様性を理解する力(多文化社会に貢献できる国際的な視野と感覚、異文化への共感的想像力やコミュニケーション能力)を身につけている」

<全学>

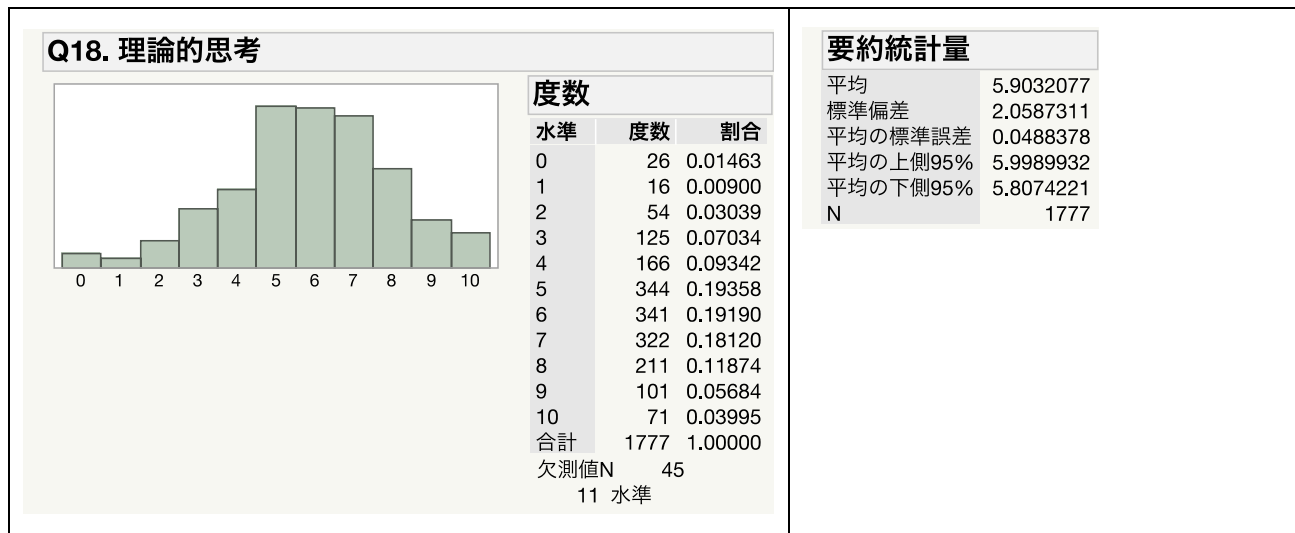


<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	658	5.56	2.12
2	512	5.64	2.21
3	387	6.38	2.20
4	223	7.00	2.11

Q18「理論的に思考し判断する力(国内外における諸課題を発見し、解決策を構想するための思考力や判断力)を身につけている」

<全学>

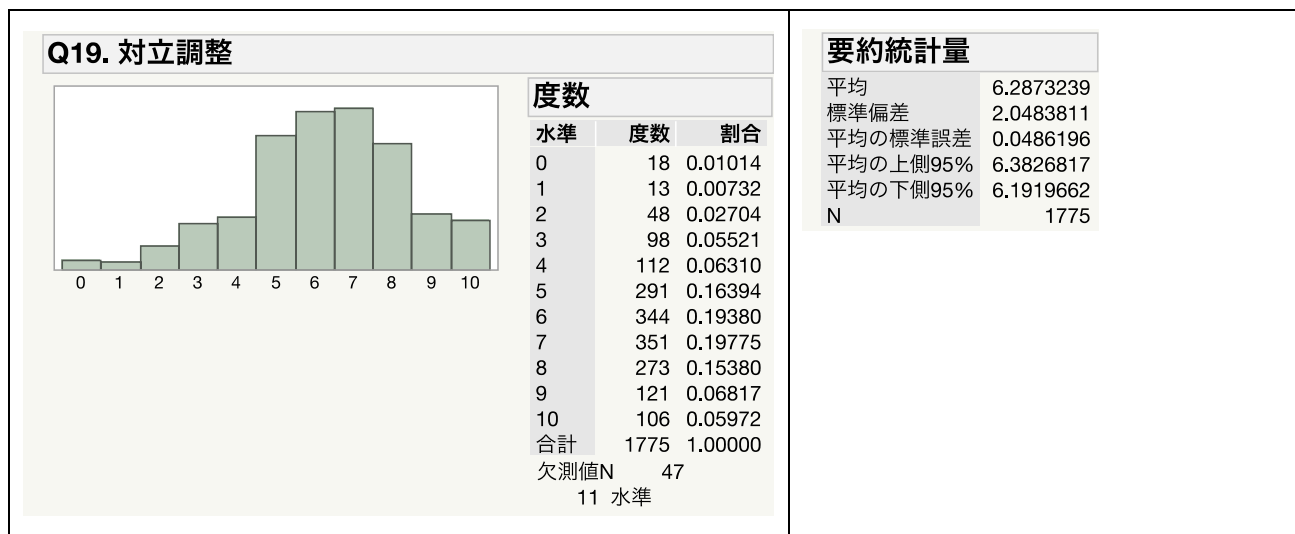


<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	656	5.57	1.94
2	511	5.62	2.11
3	387	6.25	2.03
4	223	6.93	1.89

Q19「対立する価値を調整し、他者と協働する力(自己の意見を適切に表現・伝達できるとともに、背景や価値観の異なる他者の意見に傾聴し、議論や協働により問題解決を行う力)を身につけている」

<全学>

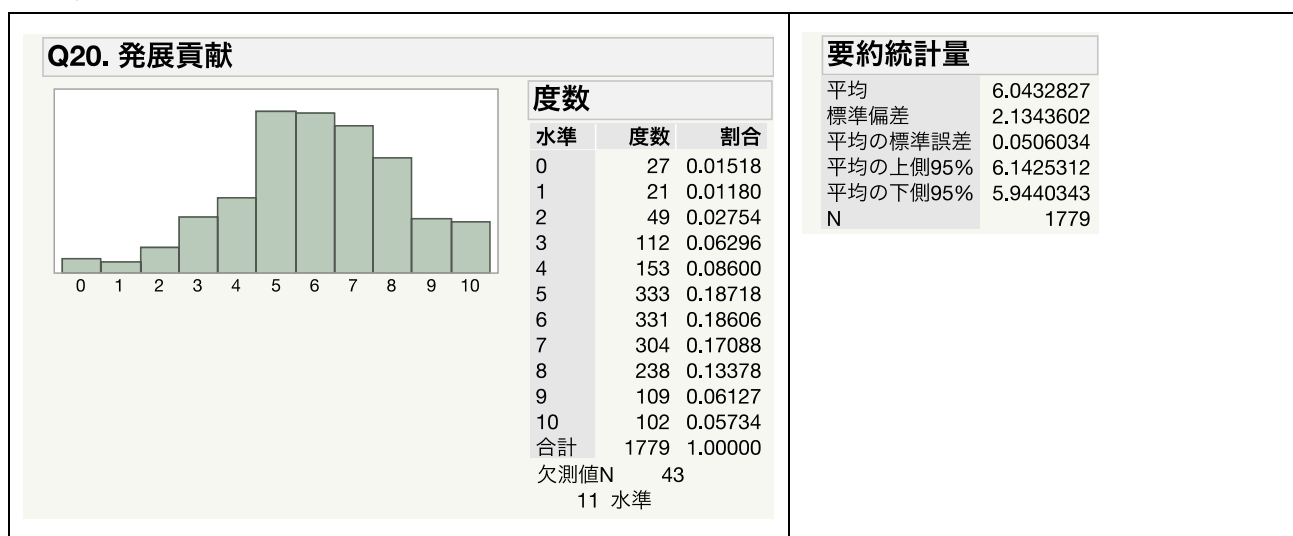


<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	654	5.88	1.96
2	515	5.93	2.11
3	384	6.78	1.97
4	222	7.46	1.62

Q20 「生涯にわたって学び続け、国際社会や地域社会の発展に貢献する意欲と能力を身につけている」

<全学>

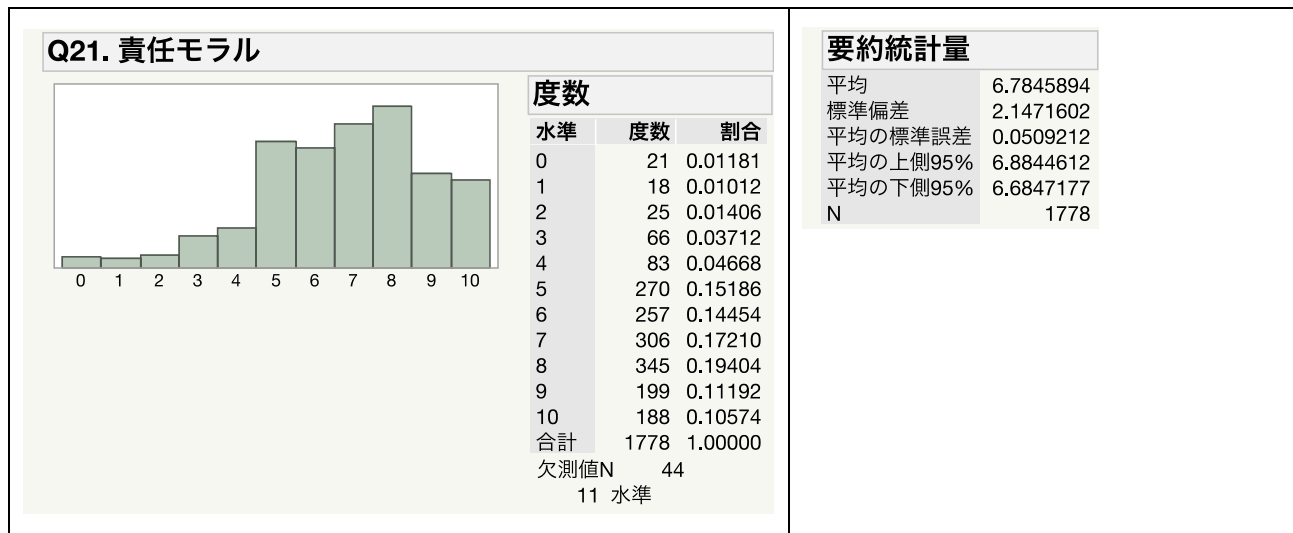


<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	656	5.65	2.04
2	515	5.75	2.16
3	386	6.46	2.08
4	222	7.15	1.91

Q21 「社会の一員としての強い責任感、使命感、モラルをもち適切に行動できる力を身につけている」

<全学>

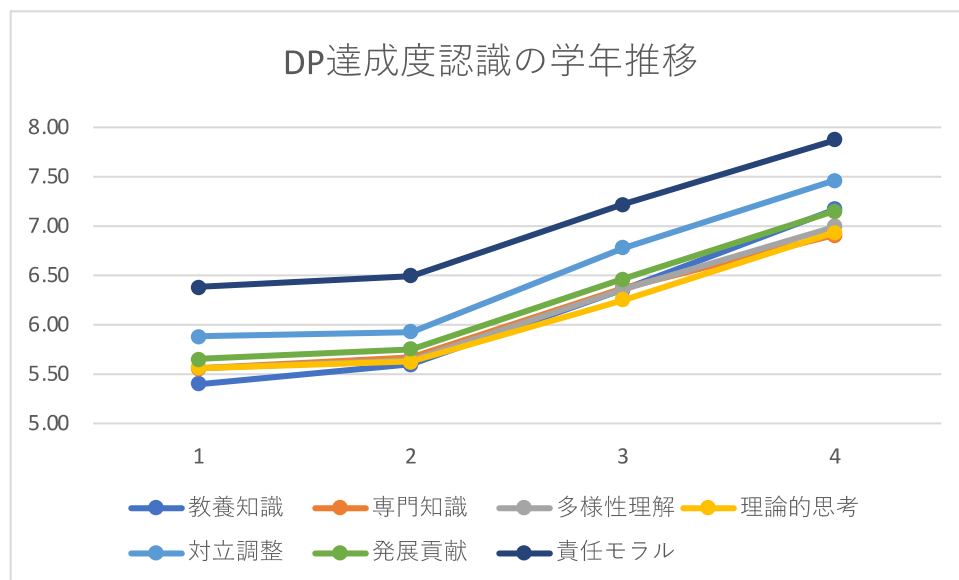


<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	652	6.38	2.11
2	515	6.50	2.17
3	387	7.22	2.08
4	224	7.88	1.76

以上の DP 達成度の学年推移を一つの表、グラフにまとめて表示すると以下のようになる。

学年	教養知識	専門知識	多様性理解	理論的思考	対立調整	発展貢献	責任モラル
1	5.40	5.56	5.56	5.57	5.88	5.65	6.38
2	5.60	5.67	5.64	5.62	5.93	5.75	6.50
3	6.36	6.38	6.36	6.25	6.78	6.46	7.22
4	7.17	6.91	7.00	6.93	7.46	7.15	7.88



DP 別の自己認識による達成度はいずれの項目でも 1 年 < 2 年 < 3 年 < 4 年、と数値が上がっていくことが確認できた。項目間では、「責任モラル」の数値が最も高く、4 年時には 7.88 に達している。一方、数値が上がりにくいのは「専門知識」と「理論的思考」である。いずれも授業によって直接働きかけることのできるはずの分野であるため、より一層の授業充実の必要性が示唆される。

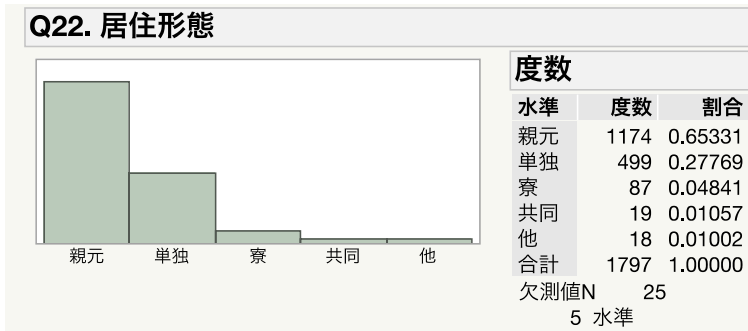
9. 生活・心身の悩み・経済状況など

このセクションでは、Q22～Q38 の、生活状況や悩みの有無、経済状況等に関する部分について結果を報告する。

【現在の生活状況】

Q22 今年度の居住形態はどれに当てはまりますか。最も期間が長いものを選んでください。

- ①親元で暮らしている [親元]
- ②ひとり暮らし [単独]
- ③学生寮・部活動の寮 [寮]
- ④ルームシェア・シェアハウス [共同]
- ⑤その他 [他]



学年	親元	単独	寮	共同	他
1	65.2	27.7	5.7	0.8	0.6
2	64.0	29.3	4.3	1.0	1.6
3	65.0	28.1	4.4	1.5	1.0
4	69.5	23.9	4.4	1.3	0.9

居住形態に関しては、約 65%が「親元で暮らしている」と答えた。このことから、本学において首都圏近郊からの進学・通学者が多いことがうかがえる。なお、2021 年度はコロナ禍のためにオンライン授業を自宅で受講する機会が多く、全体の数値に影響した可能性もある。

Q23 通常時の主な通学手段は何ですか。最も利用時間が長いものを選んでください。

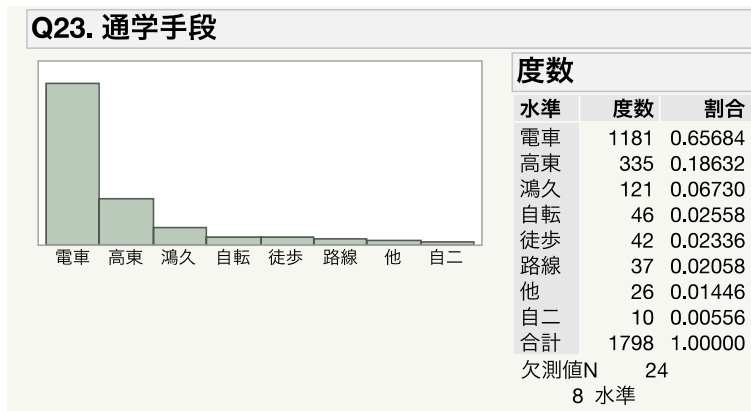
- ①電車 [電車]
- ②スクールバス（高坂／東武練馬～キャンパス） [高東]
- ③スクールバス（鴻巣便／久喜便） [鴻久]
- ④路線バス [路線]
- ⑤自動二輪・原付 [自二]
- ⑥自転車 [自転]

⑦徒歩

[徒歩]

⑧その他

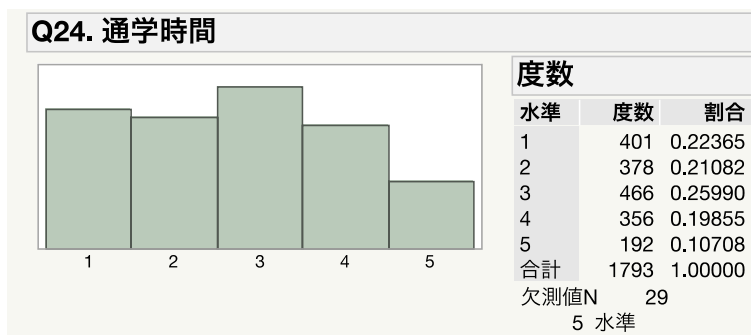
[他]



通学手段に関して、約 66%が「電車」と答えた。次いで約 19%が「スクールバス（高坂／東武練馬～キャンパス）」であり、キャンパスの最寄り駅周辺に居住している学生の利用がうかがえる。また、約 7%が「スクールバス（鴻巣便／久喜便）」であるが、これは埼玉県東部地域居住学生の通学手段の需要が一定数あることが見てとれる。

Q24 通常時の通学所要時間(片道)はどの程度ですか。

- ①30 分未満
- ②30 分～1 時間未満
- ③1 時間～1 時間 30 分未満
- ④1 時間 30 分～2 時間未満
- ⑤2 時間以上

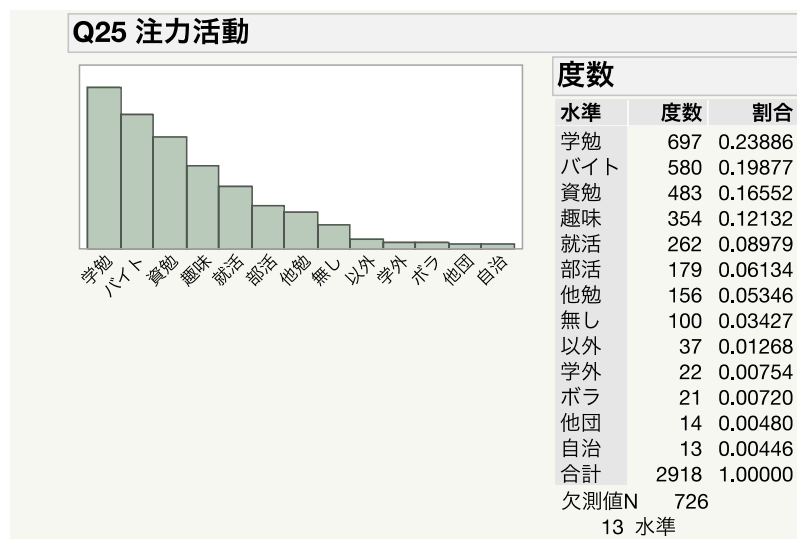


最頻値は 3（1 時間～1 時間 30 分未満）で、約 26%を占める。3 と 4 と 5（通学所要時間が 1 時間以上）の合計の割合が約 57%であり、Q22 において約 65%が「親元で暮らしている」と回答していることから通学時間の長さとの関連が見てとれる。

【取り組んでいること・課外活動】

Q25 現在、特に力を入れて取り組んでいることは何ですか。(主なものを2つまで)

- ①学部学科の勉強 [学勉]
- ②資格試験の勉強 [資勉]
- ③その他の勉強 [他勉]
- ④部活動・サークル活動 [部活]
- ⑤上記④以外の学生自治会の活動 [自治]
- ⑥そのほかの団体・委員会等大学内のコミュニティの活動 [他団]
- ⑦ボランティア活動 [ボラ]
- ⑧アルバイト [バイト]
- ⑨学外のコミュニティ等の活動 [学外]
- ⑩趣味の活動 [趣味]
- ⑪就職活動・インターンシップ [就活]
- ⑫上記以外 [以外]
- ⑬とくに何にも力を入れていない [無し]



全学では、最頻値は「学勉」(学部学科の勉強)で、約24%を占め、次いで「バイト」(アルバイト)が約20%であり、約半数の割合が勉強とアルバイトに注力していることがわかる。次に学年別の分布を示す。

学年	学勉	バイト	資勉	趣味	就活	部活	他勉	無し	以外	学外	ボラ	他団	自治
1	30.6	23.5	15.8	12.4	0.8	7.2	4.1	2.6	0.7	0.8	0.4	0.5	0.6
2	27.8	19.8	18.7	12.1	1.4	7.0	5.5	4.5	0.6	0.7	0.9	0.7	0.4
3	14.8	15.9	14.6	7.5	33.6	4.1	3.9	1.7	1.7	0.3	1.3	0.3	0.3
4	8.9	15.7	17.2	20.6	7.7	4.3	12.0	6.8	4.0	1.5	0.3	0.3	0.6

学年別には、「学勉」(学部学科の勉強)と「バイト」(アルバイト)の割合が最も高いのは1年生である。一方で最も低いのは4年生であった。学年の順序では4年<3年<2年<1年であり、進級するほど「学勉」(学部学科の勉強)と「バイト」(アルバイト)の割合が減少していることがわかる。なお、「就活」(就職活動・インターンシップ)が最も高いのは3年生で、「趣味」(趣味の活動)や「他勉」(その他の勉強)が最も高いのは4年生である。

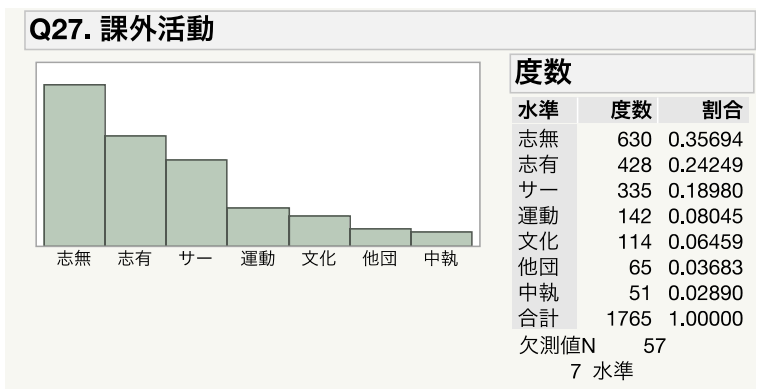
Q26 Q25で「⑫上記以外」を選んだ方は、その内容について教えてください。(自由記述)

Q25で「⑫上記以外」を選んだ学生は37名おり、そのうち28名がQ26に実質的なコメントを書いていた。大まかに分類すると、卒業後の進路に関連すること(芸能活動、社会人サークル等)が12件、自己研鑽に関連すること(筋トレ、読書、資格学習等)が7件、大学の授業に関連すること(ゼミ活動、論文執筆、実習等)が6件、その他が3件であった。大学卒業後の進路や新生活に向けて準備を行っている趣旨のコメントが多かった。

Q27 現在、学内の課外活動団体等(部活動・サークル活動・委員会活動等)に所属していますか。主に活動しているものを選んでください。引退した方は「所属している」ものとしてお答えください。

※組織：文化団体連合会・体育連合会・大東祭実行委員会・放送協会・全學應援團

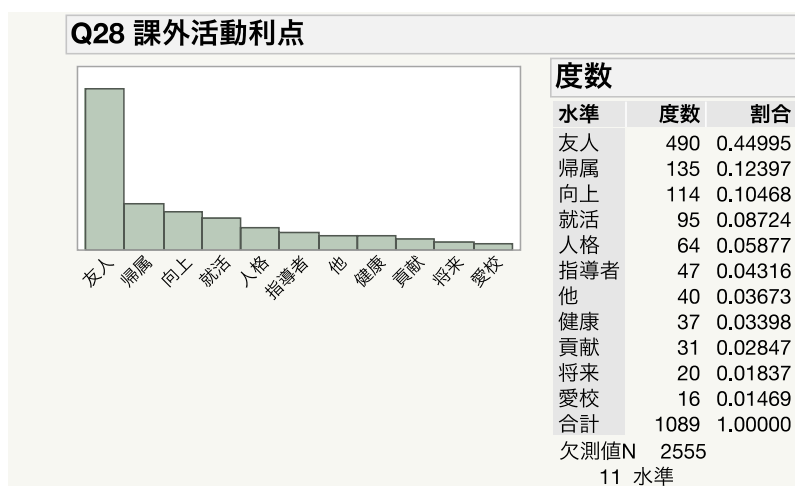
- ①中央執行委員会・組織※・機関に所属している [中執]
- ②運動部に所属している [運動]
- ③文化部に所属している [文化]
- ④サークルに所属している(公認・非公認問わず) [サー]
- ⑤そのほかの団体・委員会等大学内のコミュニティに所属している [他団]
- ⑥所属する意志はあるが、所属していない [志有]
- ⑦所属する意志がなく、所属していない [志無]



最頻値は、「志無」(所属する意志がなく、所属していない)が36%で、次いで「志有」(所属する意志はあるが、所属していない)が24%だった。合計すると、60%の割合で課外活動に参加していないことが見てとれる。なお、2021年度はコロナ禍のため課外活動が制限されたことにより、全体の数値に影響した可能性もある。

Q28 Q27で①～⑤を選んだ方は、課外活動で良かったと思うことを教えてください。(主なものを2つまで)

- ①よい指導者に出会えた [指導者]
- ②友人を得た [友人]
- ③居場所・帰属感を得た [帰属]
- ④愛校心を持つことができた [愛校]
- ⑤技術や知識の向上に役立った [向上]
- ⑥社会貢献ができた [貢献]
- ⑦人格形成に役立った [人格]
- ⑧健康増進に役立った [健康]
- ⑨将来の夢が持てた [将来]
- ⑩就職活動に役立った (役立ちそう) [就活]
- ⑪その他 [他]

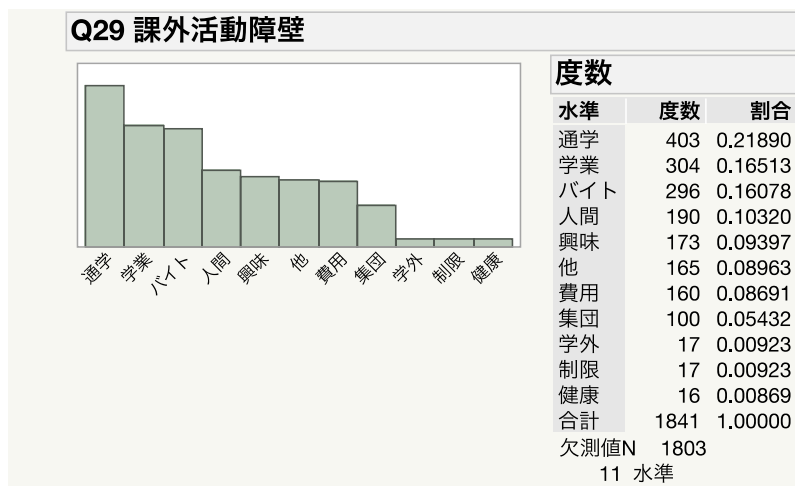


最も頻度が高いのは「友人」(友人を得た)である。上の表で「割合」とあるのは、すべての回答を1.00としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は710人であり、回答した人数に対する割合で見ると、回答者の約69%が「友人」(友人を得た)を挙げていたことがわかる。このことから、共通の課外活動を通じた交友関係の構築に利点を感じた学生の割合が高かったことがうかがえる。

Q29 Q27で⑥～⑦を選んだ方は、課外活動を行うことや、団体への入部や参加を考えるうえで障壁になること、抵抗を感じることは何ですか。(主なものを2つまで)

- ①通学距離との関係 [通学]
- ②学業との両立 [学業]
- ③アルバイトとの両立 [バイト]
- ④人間関係 [人間]
- ⑤集団生活に拘束されること [集団]
- ⑥費用がかかる [費用]

- ⑦怪我や健康面 [健康]
- ⑧学外の団体の方がいい [学外]
- ⑨ほかにやりたいことがある [興味]
- ⑩入部制限がある [制限]
- ⑪その他 [他]



最も頻度が高いのは「通学」(通学距離との関係)である。この項目に回答した人数は 1135 人であり、回答した人数に対する割合で見ると、約 36%が「通学」(通学距離との関係)を挙げていることがわかる。次いで、「学業」(学業との両立)が約 27%、「バイト」(アルバイトとの両立)が約 26%と続いている。このことから、自身の学生生活と両立することに障壁を感じて課外活動に参加できない学生が多いことがうかがえる。

【不安・悩み】

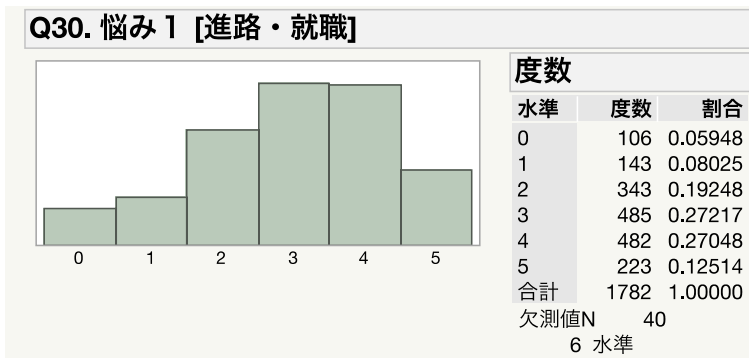
Q30 次のそれぞれの事項に対する不安や悩みはどの程度ですか。0(不安なし)～5(耐え難いほど)の 6 段階で選んでください。

0 (不安なし) 1 (少し) 2 (多少) 3 (かなり) 4 (非常に) 5 (耐え難いほど)

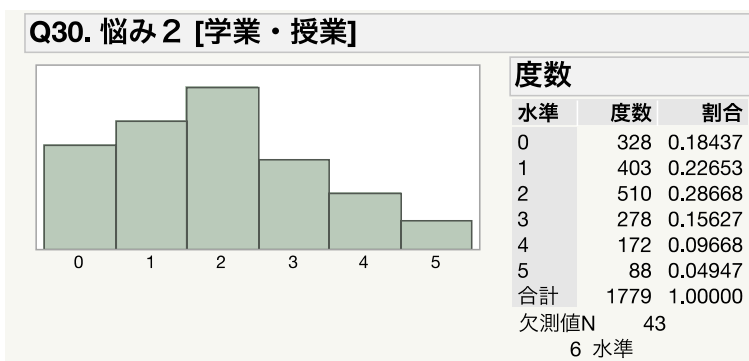
- ①進路・就職
- ②学業・授業
- ③留学
- ④心身の健康
- ⑤アルバイト先での問題
- ⑥経済的問題
- ⑦対人・友人関係
- ⑧課外活動
- ⑨家族関係
- ⑩性の悩み

- ⑪恋愛の悩み
- ⑫性格・能力
- ⑬人生観
- ⑭ハラスメント

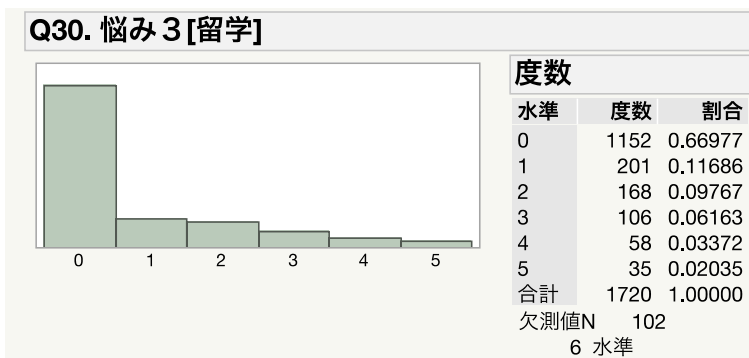
<進路・就職>



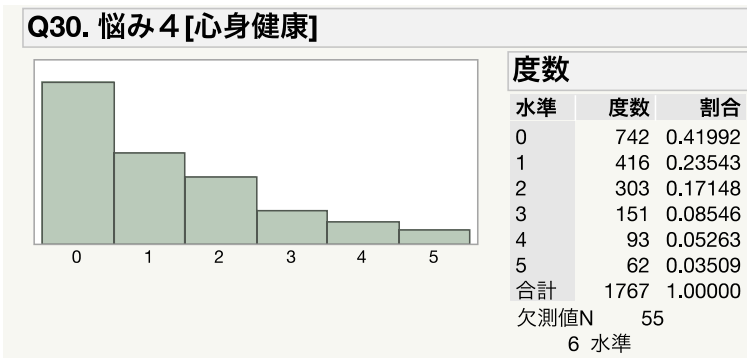
<学業・授業>



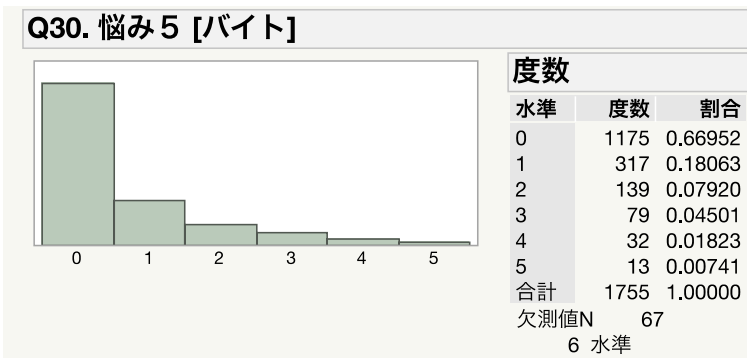
<留学>



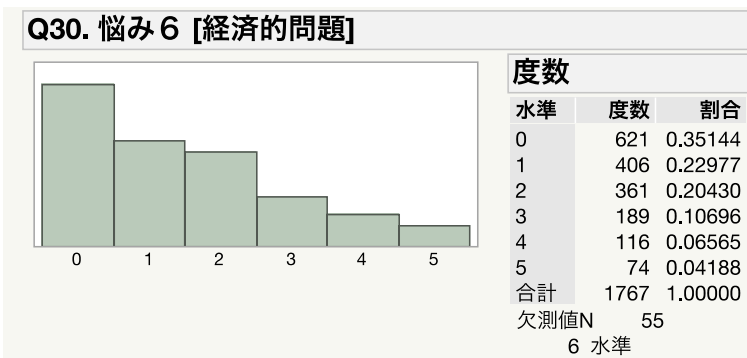
<心身の健康>



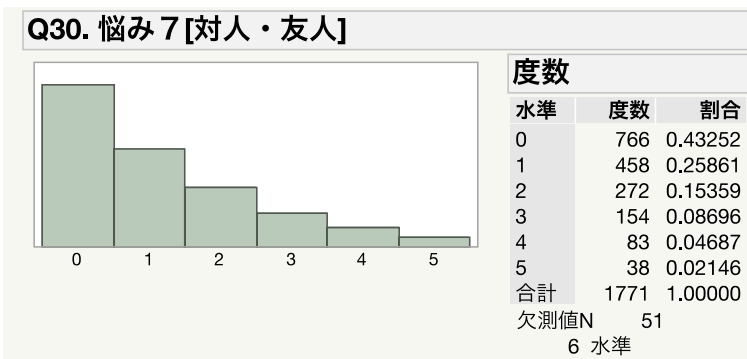
<アルバイト先での問題>



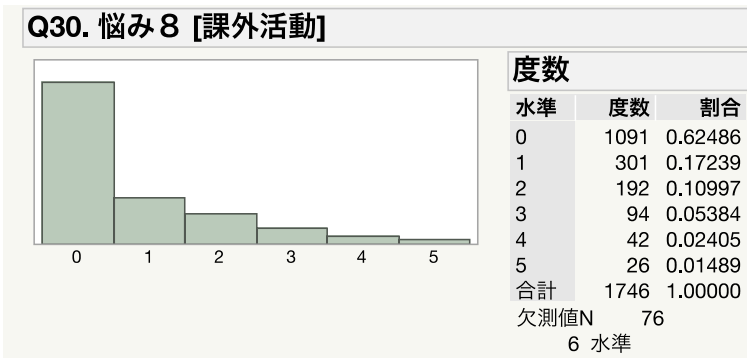
<経済的問題>



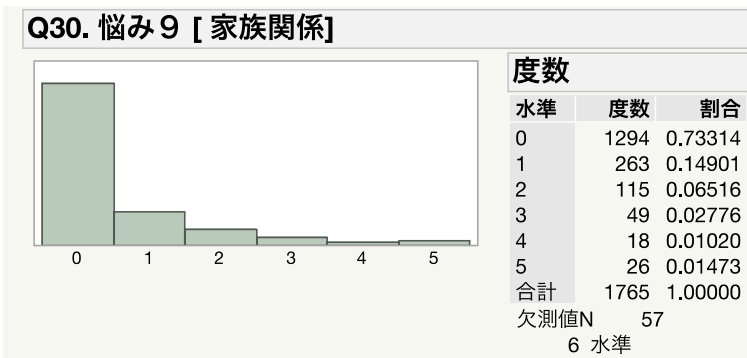
<対人・友人関係>



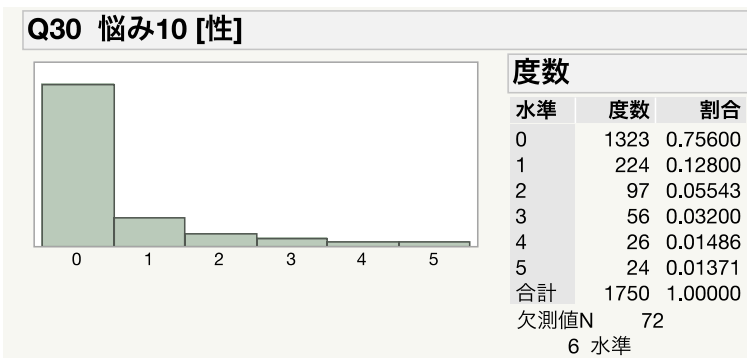
< 課外活動 >



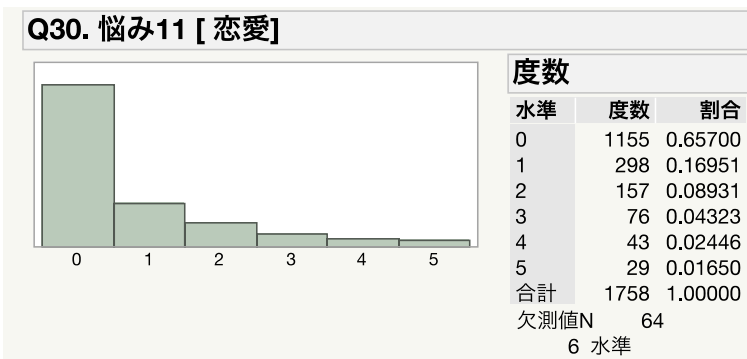
< 家族関係 >



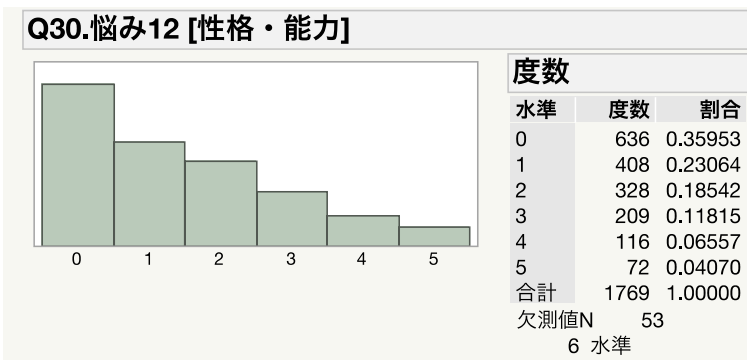
< 性の悩み >



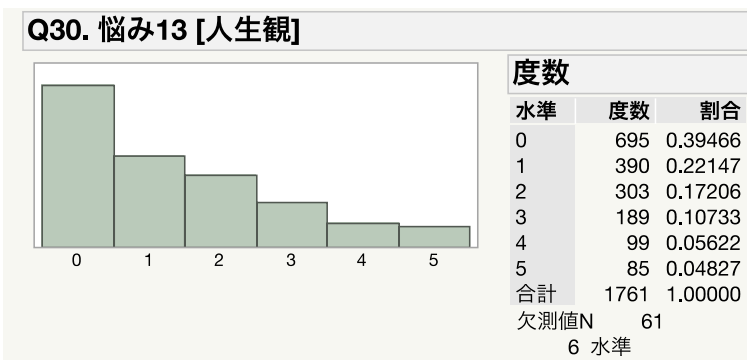
< 恋愛の悩み >



<性格・能力>



<人生観>



<ハラスメント>



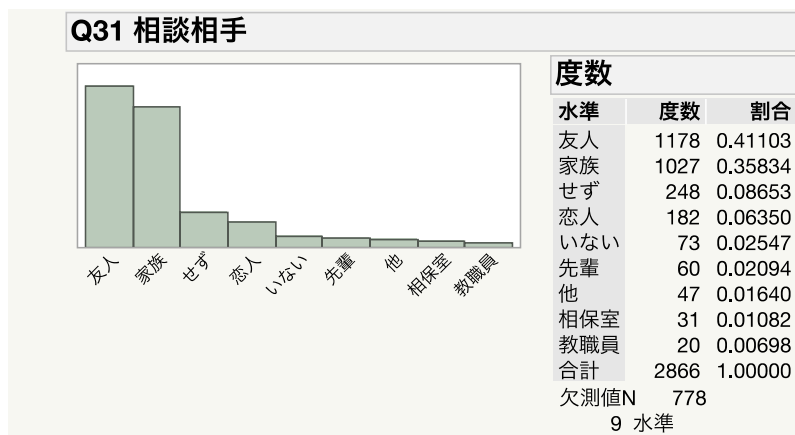
<平均値と標準偏差の一覧>

	平均	標準偏差
Q30. 悩み1 [進路・就職]	2.99	1.35
Q30. 悩み2 [学業・授業]	1.90	1.39
Q30. 悩み3 [留学]	0.73	1.25
Q30. 悩み4 [心身健康]	1.22	1.39
Q30. 悩み5 [バイト]	0.58	1.02
Q30. 悩み6 [経済的問題]	1.43	1.44
Q30. 悩み7 [対人・友人]	1.12	1.30
Q30. 悩み8 [課外活動]	0.72	1.15
Q30. 悩み9 [家族関係]	0.48	0.98
Q30. 悩み10 [性]	0.46	1.00
Q30. 悩み11 [恋愛]	0.66	1.13
Q30. 悩み12 [性格・能力]	1.42	1.44
Q30. 悩み13 [人生観]	1.35	1.47
Q30. 悩み14 [ハラスメント]	0.20	0.63

「進路・就職」の平均値が格段に高い。かなり差はあるが次は「学業・授業」、「経済的問題」、「性格・能力」、「人生観」そして「心身の健康」「対人・友人関係」と続き、ここまでが平均値 1.0 以上である。その他の項目の平均値は 1.0 未満ではあるが、平均値は低くても、ヒストグラムに示したように、すべての項目において 5（耐え難いほど）と回答している学生が人数は少ないながらも存在していることはきちんと認識せねばなるまい。学生支援センターでは HP に「困った時/ヘルプが欲しい時」というページを設け (<https://www.daito.ac.jp/campuslife/help/>)、さまざまなチャンネルを通じて学生の支援を試みているが、そのようなチャンネルについてのより一層の周知を試みたいと考える。

Q31 不安や悩みを相談している相手は誰ですか(主な相手を 2 つまで)

- ①家族 [家族]
- ②友人 [友人]
- ③恋人 [恋人]
- ④先輩 [先輩]
- ⑤大学の教職員 [教職員]
- ⑥学生相談室・保健室 [相保室]
- ⑦相談できるひとがいない [いない]
- ⑧他人には相談しない [せず]
- ⑨その他 [他]



相談相手として「友人」が約 41%、「家族」が約 36%と圧倒的に割合が大きい。一方で「相保室」（学生相談室・保健室）と「教職員」（大学の教職員）については約 1%程度である。この結果をみると、学生の相談がしやすい仕組みづくりに関して、より検討していく必要があると考えられる。

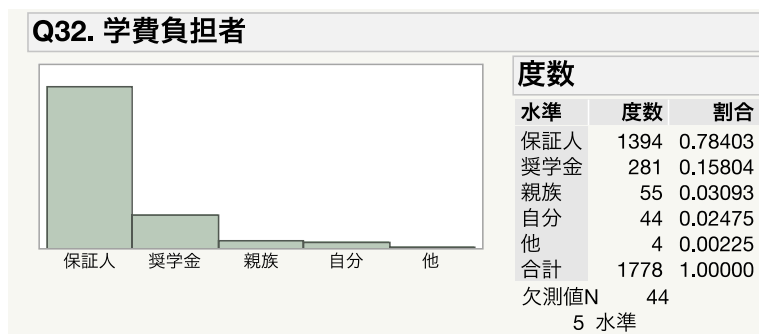
学年	友人	家族	せず	恋人	いない	先輩	他	相保室	教職員
1	42.1	36.2	8.8	5.3	2.4	2.4	1.8	0.6	0.5
2	39.3	37.1	9.3	5.9	3.9	2.0	1.7	0.6	0.1
3	40.6	34.3	7.4	8.6	2.0	1.9	1.7	2.2	1.4
4	43.3	34.6	8.9	6.4	0.8	2.0	0.8	1.7	1.4

「友人」と「家族」の割合については、学年別にみても特段の違いは認められない。しかし、「相保室」（学生相談室・保健室）と「教職員」（大学の教職員）については、3・4年生に比べて1・2年生の割合が低いことが気になるところである。数値の低さはコロナ禍のため大学に登校する機会が少なかったことが影響している可能性もある。

【経済状態・アルバイト】

Q32 学費の金額を最も多く負担しているのは次のどれですか。

- ①保証人（親など） [保証人]
- ②自分 [自分]
- ③奨学金 [奨学金]
- ④祖父母等親族 [親族]
- ⑤その他 [他]

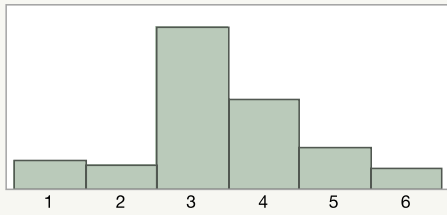


最頻値は「保証人」（保証人（親など））で約78%であった。次いで「奨学金」が約16%と続き、合計して約94%を占めている。一方で全体の約2%が「自分」であり、学費を自身で学費を支弁していることがわかる。

Q33 現在の家庭の経済状況はいかがですか。

- ①余裕がある
- ②やや余裕がある
- ③普通
- ④やや苦しい
- ⑤苦しい
- ⑥不明

Q33. 経済状況



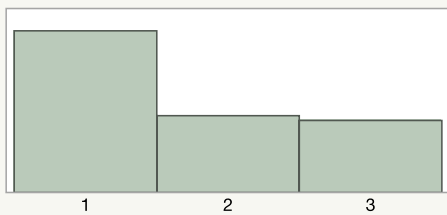
度数		
水準	度数	割合
1	134	0.07532
2	113	0.06352
3	793	0.44576
4	440	0.24733
5	201	0.11298
6	98	0.05509
合計	1779	1.00000
欠測値N	43	
6 水準		

最頻値は3（普通）で約45%である。なお、4（やや苦しい）と5（苦しい）をあわせると約36%が経済状況について苦しいと回答していることがわかる。

Q34 今年度のアルバイトについて選んでください。

- ①常時している／いた
- ②時々している／いた
- ③していない

Q34. 今年度アルバイト



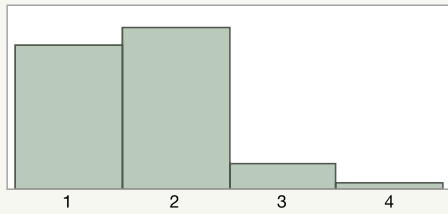
度数		
水準	度数	割合
1	932	0.52389
2	438	0.24621
3	409	0.22990
合計	1779	1.00000
欠測値N	43	
3 水準		

最頻値は1（常時している／いた）で約52%であった。なお、2（時々している／いた）および3（していない）の回答者には、コロナ禍の影響で思うようにアルバイトができなかった学生が含まれている可能性も考えられるであろう。

Q 35 Q34 で①～②を選んだ方は、アルバイトと学業の両立はできていますか。

- ①できている
- ②ある程度できている
- ③あまりできていない
- ④まったくできていない

Q35. アルバイト学業両立



度数		
水準	度数	割合
1	593	0.43002
2	663	0.48078
3	102	0.07397
4	21	0.01523
合計	1379	1.00000
欠測値N	443	

4 水準

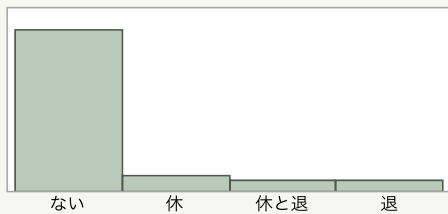
1（できている）と2（ある程度できている）を合わせると、約88%の学生についてアルバイトと学業の両立がとれていることが見てとれる。ただし一方で3（あまりできていない）と4（まったくできていない）の割合を合わせると、約9%の学生がアルバイトによって学業に支障をきたしていることが気になる。奨学金などの支援制度の利用促進や、金銭面を理由とした修学継続に関する悩み相談がしやすい仕組みづくりの必要性がうかがえる。

【休学・退学】

Q36 休学や退学を考えたことがありますか

- ①休学を考えたことがあるが退学を考えたことはない [休]
- ②退学を考えたことがあるが休学を考えたことはない [退]
- ③休学と退学の両方を考えたことがある [休と退]
- ④休学も退学も考えたことがない [ない]

Q36. 休学・退学



度数		
水準	度数	割合
ない	1465	0.82350
休	135	0.07589
休と退	89	0.05003
退	90	0.05059
合計	1779	1.00000
欠測値N	43	

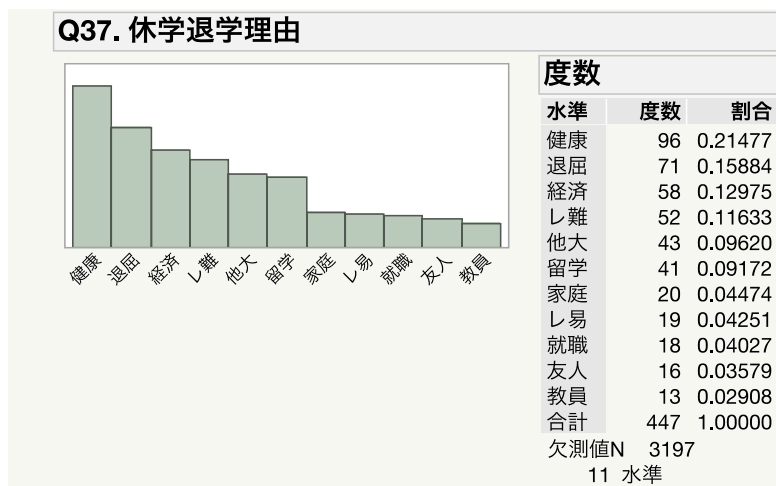
4 水準

最頻値は「ない」（休学も退学も考えたことがない）で約82%であった。一方で、全体の約2割の学生が休学もしくは退学を検討したことがあるとあげていたことがわかる。

Q37 Q36で①～③を選んだ方は、その理由を教えてください(主なものを2つまで)

- ①授業が難しい／成績が振るわない等 [レ難]
- ②授業が易しすぎる／授業のレベルに不満である等 [レ易]
- ③授業に興味を持たない／授業がつまらない等 [退屈]
- ④教員とうまくいかない等 [教員]
- ⑤大学で友人関係がうまくいかない等 [友人]

- ⑥経済的事情 [経済]
- ⑦家庭の事情 [家庭]
- ⑧心身の健康面 [健康]
- ⑨留学・ワーキングホリデーのため等 [留学]
- ⑩他大学への入学・入学 [他大]
- ⑪働きたい [就職]

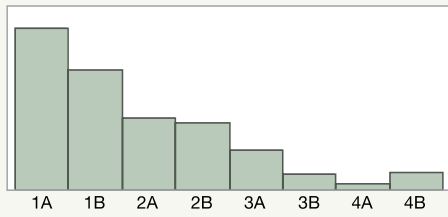


Q36.において、休学もしくは退学を考えたことがあると回答した学生は314人であり、回答した人数に対する割合を見てみると、「健康」（心身の健康面）が約36%であった。次いで「退屈」（授業に興味を持ってない／授業がつまらない等）が約23%と続いた。

Q38 Q36で①～③を選んだ方は、最初に考え始めた時期はいつ頃ですか。

- ① 1年次前期（夏休みを含む） [1 A]
- ② 1年次後期（春休みを含む） [1 B]
- ③ 2年次前期（夏休みを含む） [2 A]
- ④ 2年次後期（春休みを含む） [2 B]
- ⑤ 3年次前期（夏休みを含む） [3 A]
- ⑥ 3年次後期（春休みを含む） [3 B]
- ⑦ 4年次前期（夏休みを含む） [4 A]
- ⑧ 4年次後期（春休みを含む） [4 B]

Q38. 休学・退学時期



度数		
水準	度数	割合
1A	88	0.32714
1B	65	0.24164
2A	39	0.14498
2B	36	0.13383
3A	21	0.07807
3B	8	0.02974
4A	3	0.01115
4B	9	0.03346
合計	269	1.00000
欠測値N	1553	
8 水準		

1A（1年次前期（夏休みを含む））の回答が最も多く、学年があがるごとに減少していることが観察できる。1年次の回答の割合が突出して高いことが気になる。

10. 本学への意見等 [自由記述]

このセクションでは、Q39（本学への意見等）に対する自由記述の結果を報告する。

Q39 本学への意見等、自由に書いてください。

「特にありません」に類するものが34件。それを除いて実質的なコメントを書いたものが352件あった。それらを1件毎に精査し、言及している内容で分類し帰納的にラベル（下位コード）を付与していった。1件の中で複数の内容に言及しているものは複数の下位コードを付与した。類似の内容はひとつの上位コードにまとめた。以下、コード毎に該当件数によって降順にソートして示す。

<全体的な分布>

コードシステム	件数
▼ コードシステム	406
> ④ 授業について（形態）	92
> ④ 授業について（その他）	63
> ④ 大学全体の印象について	65
> ④ 施設 / 設備について	50
> ④ 学費・経済面について	40
> ④ コロナ禍について	25
> ④ 学生へのサポートについて	16
④ 特定の部局・教職員に係る不満の表明	13
④ 自身の決意・自身に対する戒め	12
> ④ アンケート調査について	5
> ④ 立地・環境について	5
④ 知っておきたい学生の「声」	20

全該当件数406のなかで授業に関するものが最も多く、授業形態についてが92件、それ以外についてが63件であった。以下、大学全体の印象、施設／設備について、と続いた。以下、それぞれの上位コードを展開した下位コードの分布を示す。

<授業について(形態)>

授業の形態については、オンライン授業を続けて欲しい、またはオンライン授業も存続して欲しいという声が多かったのだが、逆に対面授業にして欲しい、対面授業を増やして欲しいという声もほぼ同程度にあった。またオンラインでの受講と対面での受講を選択できるシステムにして欲しいという声も目立った。とくにオンライン授業の存続を求める声の中に、それによって両キャンパス間の移動にかかる問題が克服されるはずだ、という声が目立った。これについては検討に値すると思われる。

授業について (形態)	0
オンライン授業も/を続けて欲しい	32
対面授業にして / 増やして欲しい	29
オンライン / 対面授業を選択式にして欲しい	11
授業内容 (オンライン) に不満がある	9
授業では対面 / オンライン統一して	5
対面授業はやめて欲しい	5
オンライン授業で視力減退した	1

#0505 授業に関して今までは、校舎が異なる授業を連続して履修することは出来なかったが、オンラインであれば、元々の開催校舎が異なっても履修できるようにしてほしい。

#1097 教職とゼミの両立をしたいが、教職必修の科目とゼミの科目がかぶってしまい、非常に苦しい状況である。2年次と3年次では違うキャンパスなので、科目が重なってしまうことで2年で教職必修科目が取れないと、3年で板橋と東松山を行き来しなければいけなくなる。このことは重々承知の上で両立を目指しているが、3年次修了までに教職の科目をとってなければ、4年次で教育実習に行くことができず、3年次でゼミと教職の科目がかぶってしまいと教員免許取得を諦めなければいけない状況となってしまう。教職課程には既にお金を振り込んでいて途中でやめると戻ってこない。このような状況になっていることにとっても大きな不安をいただいております、例えば教職の科目はオンラインにするなどの工夫をしてほしい。

#1346 完全に対面授業へ戻すのではなく、あえてオンラインで行う形の授業も残していただきたいと個人的に考えております。特に3年次以降は、板橋校舎がメインとなることで東松山校舎での授業を履修することが難しくなります。しかし2021年度はまだオンライン授業も多かったため、東松山校舎の授業をオンラインで履修し、多彩な学びを展開することが可能になっていました。対面で行う学習だけがより良いものだとは限らないことをご一考して頂けると幸いです。

#1548 対面とオンラインを選択にすることで板橋と東松山の壁がなくなり、より幅広く、興味のある講義に有意義に取り組むことができると私は考える。

#1787 他キャンパスの授業をオンラインで履修できるようになると90分の移動時間確保の必要が無くなり、授業選択の幅が広がると思いました。

<授業について(その他)>

開講形態以外で授業に関しては、授業内容や評価基準の改善を求める声が多かった。次に多かったのは諸々の決定およびその内容の通知をもっと早くして欲しいという声である。

#0354 アルバイトをしている学生はかなりいると思います。去年も開催しているような行事であれば遅くとも3週間前には告知して欲しいです。2週間前にいきなり告知して強制参加と言われても無理です。もう少し学生の立場に立って考えて欲しいです。

#1170 様々な連絡をもっと早く発信してほしい。なぜなら、アルバイトのシフトを一か月前に提出しなければならないのに連絡が遅いとシフトを変えてもらわなくなってしまうからです。

#1239 オンライン授業で授業を進めていくのか、対面授業で進めていくのかといった判断が他の大学などな比べて遅いと感じます。これらは一人暮らしにおける経済面などでかなり重要となるので、改善して欲しいです。

また教員による授業の質の差を訴える声も目立った。

#0055 教員ガチャがひどい。

#0377 多くの先生方は変化する環境に苦戦を強いられながらも、私たち学生のために分かりやすく、柔軟に、そして速やかに授業を進めてくださったと感じています。しかし、中にはそうではない先生もいらっしゃいました。具体的には、無気力で、ただタスクを進めるだけ、そして生徒に強い不快感を与える先生です。多くの方がより良い授業を行おうと、今の環境の中で努力をなさっているのに、このような先生がいるのは非常に残念なことだと感じました。

このような「教員による授業の質の差（と学生に映ってしまう事例）」は、原則対面となれば緩和されることが期待されるが、オンライン形式による授業が将来的に必要となる可能性もあり、すべての教員が対面・オンラインを問わず質の高い授業を行えるための準備・努力は引き続き求められよう。

<大学全体の印象について>

大学全体の印象について	0
● 良い大学だ・入学して良かった・充実していた	39
● 大学名の印象が改善されて欲しい	13
● 他の学生の質・行動に不満がある	6
● サークル / 部活動 / 自治会にかかる要望	7

大学全体に関わるコメントとしては、「良い大学であった」「入学して良かった」といった肯定的なコメントが最も多かったのは安心材料ではあるものの、それと同時に本学の学生が大学名に関する世間的な評価に苦しんでいる実態もまた浮かび上がってくる。「入学してみたら（意外に）良い大学である（あった）と感じるが、大学名に対する世間の評価が高くないのが辛い」という要約が多くの学生に当てはまると考えられる。

#1286 大東文化大学はカリキュラムや設備が充実していてとても魅力的な大学であったと思います。また、頼もしい講師の方々・共に学んだクラスメート・サークルで出会った仲間・丁寧な警備員さん・気さくな食堂のおばちゃん

人など、大東文化大学で様々な人たちと出会い、恵まれた大学生活を送ることができました。素敵な 4 年間でありがとうございました。

#0856 入学当初は世間の評価などをネットで見て不安を感じていたが、先生や仲間たちは自分と同じ志を持ったいい人たちだと実感した。また、思っていたよりも充実した大学生活を送れた。

#0941 入学当初は受験に落ちてしまったため、この学校がとても嫌でした。しかし素敵な友人や先生方にすごく恵まれました。自分の夢が叶えられるととてもいい学校だったと思っています。

<施設／設備について>

施設 / 設備について	0
● スクールバスに関する要望	14
● 教室等設備に関する要望	13
● 飲食物施設の充実の要望	11
● 施設を利用可能に・範囲・時間をより長く	9
● トイレに暖房便座を・トイレトペーパーホルダの形状	2
● 施設がよい・満足だ	1

施設・設備については Q7 での回答と同様で、スクールバスについての要望が最も多かった。

#1368 久喜バスの本数が少なすぎてとても不便です。急にバスダイヤ変更するのをやめてほしいです。アルバイトや他の日程に影響がある。

0970 本当にバスの台数を駅発と学校発の両方全ての時間で増やしてほしい。人が多すぎて密でコロナが怖い。

<学費・経済面について>

学費・経済面について	0
● 状況に見合った学費に・もっと給付金を	28
● 経済的に苦しい / 学費が高い	7
● 学業成績優秀者への奨学給付金を増やして	3
● 予算の使い方に不満である	2

学費・経済面に関してはコロナ禍によってオンライン授業を開始して以来の、「オンライン授業によって従来の対面授業よりも質が落ちているのだから／大学の設備が使えないのだから、学費を減免・返還すべきだ、給付金を追加支給すべきだ」といった声がやはり多かった。これらの声は原則対面授業となることで解消されると期待される。コロナ禍と直接関係ないものとして、インセンティブとして学業成績優秀者に対する奨学金の枠を増やすべきだ、という声があった。

#0316 成績優秀者の範囲を増やして沢山の人が給付型の奨学金をもらうのがいい形だと思います。誰もが奨学金という借金を背負う時代はもう終わりにした方がいいと思います。

#0762 生徒の勉強意欲を上げるために成績による奨学金など学費の減額システムが欲しい。

<コロナ禍について>

▼ ● ●	コロナ禍について	0
● ● ●	交流できる場が欲しい	13
● ● ●	コロナのため大学生活が損なわれた・孤独だ	12

コロナ禍によって学生同士で交流できる場がなかったので作って欲しいという声と、従来のような大学生活が損なわれて残念だ、という無理からぬ声があった。

<学生へのサポートについて>

▼ ● ● ●	学生へのサポートについて	0
● ● ● ●	就活・教職サポートが充実していて安心だ	7
● ● ● ●	就活サポートに不満・不安だ	5
● ● ● ●	サポート・対応に感謝している	3
● ● ● ●	学生へのサポート不足だ	1

学生へのサポートについては満足・安心できたという声が、不満足・不安だという声を上回った。

<特定の部局・教職員に係る不満の表明>

特定の部局や教職員に関するコメントについては、該当部局がわかる場合には必要に応じて伝達したうえで対応の必要性の有無の判断を仰ぎたい。特定部局でなく（おそらく事務）職員全般に対するコメントとしては以下のようなものがあった

#1160 職員の対応に温度差があり過ぎるのが気になります。親切に接している方もいらっしゃいますが、そうでないの方が大半だと思います。分からないから相談に来ているのに、知っている前提或いはそんなのも知らないのかみたいな態度をなされる方は特に困ります。なので、もっと分かりやすく、沢山情報を発していただけるとありがたいです。

<自身の決意・自身に対する戒め>

自分自身の決意表明としては、そのすべてが、気を引き締めて更に努力してゆきたい、といった前向きなものであった。

<アンケート調査について>

▼ ● ● ●	アンケート調査について	0
● ● ● ●	アンケート結果が活かされていない / 設問が不十分だ	3
● ● ● ●	アンケートの努力に感謝する	2

アンケート調査について、結果が活かされていないのではないかという声があったことは真摯に受け止めたいと考えている。本アンケートの結果についても可能な限り学生の声が反映される方向で働きかけてゆきたい。

<立地・環境について>

▼ ● 立地・環境について	0
● ● キャンパス立地が不便・立地以外が良い	4
● ● 東松山キャンパス環境よい、板橋環境残念	1

立地および環境については、東松山キャンパスは環境はよいが立地が悪い、という声が多かった。

#0288 私は千葉に住んでおり、親にお金がかかるから一人暮らしはさせられないと言われました。1.2年時の東松山キャンパスまで片道、2時間半かかり、サークルに所属したかったのに出来ず、悔しい思いをしています。東松山キャンパスではなく、4年間板橋キャンパスで過ごしたかったです。

<知っておきたい学生の「声」>

直接受け止めておきたいと考えられた「声」の中で、これまでに紹介していないものを以下に掲載する（順不同・最小限の誤字訂正のほかは原文ママ）。すべてこれまでのいずれかのコードに分類カウントしたコメントである。

#0223 パソコンも使えない教員が多く、生徒が迷惑をしていた。どうにかした方がいいと思います。

#0012 コロナ禍で大学や学業に関する出費が増えた。変わらない年間の学費や教科書代に加えて、オンライン授業、課題に対応するためのパソコンの購入、配布物を印刷するためのコピー用紙、インク代費用、など。結果的に大学から出た給付金(10万円)以上の出費になってしまい、親に学費を払ってもらっているため自分のバイト代でその他をいつも以上に賄うのはきつかった。

#0126 他の大学に負けなくらいの魅力を確立してほしい。大東生として自信を持ちたい。

#0896 不本意で来た場所にはなりますが、更なる飛躍のために今いるこの場所を大事にします。私に学ぶ場を提供していただきありがとうございます。

以上